

V. 昭和 48 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

本所発行の研究発表、紹介の出版物としては次の 3 種がある。そのほかには年次要覧（年刊）、生研案内和文および英文（いずれも隔年）がある。

東京大学生産技術研究所報告（略称：生研報告）

所員のまとまった研究成果を発生する。本文は和文または欧文とし、不定期発行で年間平均 8 冊前後を刊行している。

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で発行している。

以上は、本所の発行の分で、その他、随時に学会誌、協会誌、その他の雑誌に研究を発表している、

生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、写真中心に簡略に編集したもので、現在まで 112 種を発行している。

A. 東京大学生産技術研究所報告（不定期刊・研究発表誌）

昭和 48 年度（48 年 4 月～49 年 3 月）に発表したものを次の表に示す。

巻 号	題 目	著 者	発行年月
22・1	ロールフォーミングに関する解析的研究（英文）	木内 学	1973. 5
23・2	滴状凝縮過程の研究（1）（英文）	棚沢 一郎・橋 藤雄 落合 淳一	1973. 8
23・3	芳香族炭化水素のプロトン化の研究（英文）	藤平 正道・早野 茂夫	1973. 9
23・4	図形処理に関する研究	出沢 正徳	1974. 2

B. 生 産 研 究

巻 号 (発行年月)	通 し ページ	題 目	著 者
25巻 4 号 (48年 4 月)	143	ポリマー含浸コンクリート 一開発研究の現状と問題点一（研究解説）	小林 一輔
	148	サイリスタ無整流子電動機の研究（研究解説）	原島 文雄
	155	シミュレーションモデルを用いたアースデザインに関する研究（第 5 報）（研究速報）	丸安 隆和・村井 俊治 大林 成行・栗原 京子
	159	交通流の経路指定のための最適配分アルゴリズム（研究速報）	浜田 喬・藤田 一彦

	162 アルミニウム中の Z_n の粒界拡散 (研究速報)	西川 精一・梅津 清
	165 棒の二方向矯正における変形機構に関する一考察 (研究速報)	鈴木 弘・荒木甚一郎
	167 多チャンネル AE 標定システム (研究速報)	山本 直道
	171 研究室紹介	尾上 守雄・山口 楠雄 市川 初男・嶋田 淑男 野口 跡見 小林研究室
25巻 5号 (48年 5月)	173 後藤信行君を悼む	中村 亦夫
	174 自動車車内騒音の一評価法 (研究解説)	立石 泰三
	179 洗浄機構とビルダー作用 (研究解説)	荻野 圭三
	187 溶融塩の精製について (研究解説)	明石 和夫・黄 仁基 降旗 節夫
	197 炭酸ガスによる軟鋼の酸化—炭素の析出挙動— (研究速報)	本間 禎一・細井 祥子
	200 プラズマジェット冶金反応への応用(4)—酸化アルミニウムの炭素還元— (研究速報)	石塚 隆一・明石 和夫
	203 結晶粒界の各種規則構造とその乱れ (研究速報)	石田 洋一
	206 Fe-Ge 非化学量論的金属間化合物における原子空孔のメスbauer解析 (研究速報)	成瀬 明輔・石田 洋一
	209 研究室紹介	加藤 正夫 川股研究室
25巻 6号 (48年 6月)	211 梁理論の精密化に関する二、三の試み(その1)—梁理論の基礎— (研究解説)	川井 忠彦・藤谷 義信
	221 X線光電子分光法による有機および有機金属化合物の解析 (研究解説)	土屋 伸次・妹尾 学
	230 流体力学における Matched Expansion 法 (研究解説)	成瀬 文雄
	238 Elastic-Plastic Analysis of Beams with Uniform Cross-Section Under Combined Loadings(2)—Bending and Its combination with Torsion— (研究速報)	YAMADA Yoshiaki TAKATSUKA Koro
	243 掃引型ファブリ・プロ干涉計の分解能に及ぼすピンホールの影響 (研究速報)	高木堅志郎・根岸 勝雄
	246 船舶の波浪荷重および船体応答の長期自動計測装置—第1報—自動 R. M. S. 計測装置— (研究速報)	高橋 幸伯・小畑 和彦 能勢 義昭
	249 ポータブル振動記録装置の試作 (研究速報)	荒井 紀博
	253 スルフィルミン構造を有するポリマの合成 (研究速報)	浅原 照三・妹尾 学 木瀬 秀夫・芹田 元
	257 炭酸ガスによる軟鋼の酸化—硫化物の影響第1報— (研究速報)	本間 禎一・細井 祥子
	259 Finite Element Analysis load cell Responce in High Speed Tensile Testing (研究速報)	YAMADA Yoshiaki NAGAI Yoshihiko
	263 研究室紹介	山口研究室
25巻 7号 (48年 7月)	265 梁理論の精密化に関する二、三の試み(その2)—Saint Venant の振り問題 (研究解説)	川井 忠彦・藤谷 義信
	278 半導体中の深いエネルギー単位の不純物の測定 (研究解説)	堺 和夫・生駒 俊明
	288 Cu-0.52wt/Fe 合金の時効初期における比抵抗増加および Cu-Fe 合金時効材の塑性加工による異常	長田 和雄・西川 精一

	電気抵抗増加について (研究速報)	
	293 Dynamic Response of Viscoelastic Materials to Sinusoidally Varying Loadings (研究速報)	YAMADA Yoshiaki TAKABATAKE Hideyuki
	297 ビニルエチレンカーボナートの重合と生成ポリマーの反応 (研究速報)	浅原 照三・妹尾 学 今井 猛
	300 Fatigue Cracks under Plane Stress in Electrodeposited copper single Crystals—Part 1— (研究速報)	MATSUNAGA Masahisa HAGIUDA Yoshiaki
	303 ロールフォーミングに関する実験的研究 第15報—円弧形断面を有する製品の形状に関する検討— (研究速報)	鈴木 弘・木内 学 高田 研二
	306 広幅断面のロール成形に関する実験的研究 第6報—成形過程における歪挙動に与える各種条件の影響— (研究速報)	鈴木 弘・木内 学 新谷 賢・三浦 史明
	310 アクリル酸オクチルとステレンの共重合におけるルイス酸の効果 (研究速報)	伊保内 賢・妹尾 学 浅原 照三
	313 応力下における粒界移動 (研究速報)	石田 洋一
	315 船舶の波浪荷重および船体応答の長期自動計測装置—第2報ダイナミック自動データ集録装置— (研究速報)	高橋 幸伯・小畑 和彦 能勢 義昭
	318 研究室紹介	越 研究室
25巻 8号 (48年 8月)	319 斜面の受ける太陽エネルギーに関する基礎的研究 (研究解説) カリフォルニア大学 (サンタバーバラ) の印象 (調査報告)	村井 俊治・大林 成行 高木 幹雄
	334 大きな金属単結晶のX線トポグラフィ (第1報) (研究速報)	高 正植・片岡 邦郎 一色 貞文
	338 CO ₂ レーザ光のビーム・ガイド (研究速報)	藤井 陽一・大林 周逸 東野 和久・松井 秀文 村井 俊治・大林 成行
	341 シミュレーションモデルを用いたアースデザインに関する研究 (第6報) (研究速報)	
	346 Al-4.4% Mg 合金における高温クリープ転位組織とすべり面との関係 (研究速報)	森藤 文雄・石田 洋一 加藤 正夫
	349 回転円柱近傍にある静止円柱に作用する流体力の特性 (第1報) —履歴現象— (研究速報)	佐藤 良・石原 智男 小林 敏雄・佐賀 徹雄
	352 Chemical Soil Stabilization Recently Developed in Japan (研究速報)	MIKI Gosaburo
	358 Al-4.4%Mg 合金における格子転位および粒界転位への折出 (研究速報)	劉 勝利・石田 洋一 加藤 正夫
	360 研究室紹介	本間研究室
25巻 9号 (48年 9月)	361 梁理論の精密化に関する二、三の試み (その3) —Saint-Venant の振り問題(続)— (研究解説)	川井 忠彦・藤谷 義信
	373 OTF 測定の数値化 (研究解説)	小瀬 輝次・武田 光夫
	380 金属—金属固溶体における格子内高速拡散について (研究解説)	西川 精一・楠 克之
	387 物質移動の基本式 (研究解説)	野崎 弘
	396 イソジベンゾアントロニルのプロム化およびクロム化 (研究速報)	故後藤 信行・李 章鎬

	400	ロールフォーミングに関する実験的研究第16報 —V形断面の曲げ部およびその近傍の肉ペリにつ いて— (研究速報)	鈴木 弘・木内 学 新谷 賢・三浦 史明
	403	大きな金属単結晶のX線トポグラフィ第2報 (研究 速報)	高 正植・片岡 邦郎 一色 貞文
	407	多結晶変形における格子転位と粒界転位の反応 (研 究速報)	石田 洋一
	409	還元鉄鉱石中の Si と SiO ₂ の分離定量法 (研究速 報)	中村 成子・館 充
	412	研究室紹介	佐藤研究室
25巻10号 (48年10月)	413	生産加工の単位技術の最適化の重要性—システムと ユニットの両面からの最適化— (巻頭言)	鈴木 弘
工業用材料 の生産・加工 システム の最適化	415	工作機械構造の振動特性の推定について (特集2)	佐藤 壽芳
	428	ロンルフィーミング加工における最適化問題 (特集 3)	木内 学
	437	放電加工の電極送り制御 (特集4)	増沢 隆久
	444	矯正技術に関する基礎理論 (特集5)	荒木甚一郎
	449	タンデム圧延の制御系の最適化について (特集6)	阿高 松男
	457	半溶融金属の塑性加工の可能性 (特集7)	福岡新五郎
	463	焼結冷鍛の現状と将来 (特集8)	天野 富男・中川 威雄
	647	Separation of Vibration Modes of Machine Structure Using a Response Curve (研究速報)	TAKAHASHI Nobuaki
	471	3,6'- および 3,6'-ジベンゾアントロニルの合成とそ のB型縮合 (研究速報)	故後藤 信行・李 章鎬
	475	有限要素法による一次元衝撃解析の一考察 (研究速 報)	中桐 滋
	478	研究室紹介	棚沢研究室
25巻11号 (48年11月)	479	梁理論の精密化に関する二、三の試み (その4) —梁の剪断変形理論— (研究解説)	川井 忠彦・藤谷 義信
	491	Fatigue Cracks Under Plane Stress in Electro- deposited Copper Single Crystals-Part II (研 究速報)	MATSUNAGA Masahisa
	494	ファセットのある (001) Cu 表面の酸化挙動 (研究 速報)	HAGIUDA Yoshiaki
	496	大きな金属単結晶のX線トポグラフィ—第3報—リ ニエジ構造への適用— (研究速報)	米岡 俊明・本間 禎一
	499	耐震ダンパーに関する研究—第2報—起振実験およ び振動台実験— (研究速報)	高 正植・片岡 邦郎 一色 貞文
	504	耐震ダンパーに関する研究—第2報—起振実験およ び振動台実験— (研究速報)	川股 重也・米田 護 半谷 裕彦・金沢 京子
	504	化学反応速度の起動力をそのエントロピー生成から 求めることについて (研究速報)	野崎 弘
	507	Frictional Behavior of Synthetic Molybdenum Disulfide High Vacuum (研究速報)	MATSUNAGA Masahisa
	510	亜鉛アルミニウム共析合金の高温引張りに際するヒ ゲ結晶の生長 (研究速報)	NAKAGAWA Tatsuo
	513	ミクロ孔吸着剤における吸着平衡 (Ⅲ) —分子ふる いカーボンにおけるガス吸着平衡の相関— (研究 速報)	鈴木 邦夫・石田 洋一 市原 正樹
	517	構内2地点における地震波の測定と解析 (研究速報)	河添邦太朗・川井 利長 佐藤 壽芳・鈴木 浩平

	520 研究室紹介	駒崎 正洋・大堀 真敬 安田研究室
25巻12号 (48年12月)	521 アセナフテンとその周辺 (研究解説)	故後藤 信行
	530 所内廃棄物処理規則制定の経緯 (調査報告)	早野 茂夫
	532 炭酸ガスによる軟鋼の酸化一硫化物の影響第2報一 (研究速報)	細井 祥子・本間 禎一
	535 熱刺電流による MNOS メモリーデバイスのトラッ プ単位の測定 (研究速報)	勝部 昭明・安達 芳夫
	539 準対応粒界の構造と粒界転位 (研究速報)	生駒 俊明
	541 多重後方散乱ガンマ線によるカーボン煉瓦厚さの測 定—第1報—(研究速報)	石田 洋一
	545 ねじれ振動子型レオメータによるメチルセルロース 希薄水溶液の動的粘弾性 (研究速報)	加藤 正夫・佐藤 乙丸 斎藤 秀雄
	549 An Experiment of two Dimensional Monolithic Crystal Filters (研究速報)	甘利 武司・中村 亦夫
	552 A Study on Flow Stress of Metal in Solid- Liquid's Coexisting State (研究速報)	ONOE Morio
	556 Holographic Optical Sectioning for Information Reduction of Three-Dimensional Image (研究 速報)	SPASSOV Lozan FUKUOKA Shingoro KIUCHI Manabu FUJII Yoichi MATSUBARA Toshiro
	558 Chromatographic Moments for Packed Beds of Bi-Dispersed Adsorbents (研究速報)	KAWAZOE Kunitaro SUZUKI Motoyuki CHIHARA Kazuyuki 高羽研究室
26巻1号 (49年1月)	1 研究に先見性を (巻頭言)	鈴木 弘
	2 Si 中の転位によるフォノン散乱と熱伝導 (研究解 説)	鈴木 敬愛・中村 和夫
	9 断片的に解析的な境界値問題に対する高速高精度の 数値解法—多解形領域の Stokes 問題への適用— (研究解説)	鈴木 敬子 金子 幸臣
	18 Statistical Analysis of Peak Accelerations of Recorded Earthquake Ground Motions (研究 速報)	KATAYAMA Tsuneo
	21 ミニコンにおける LISP (研究速報)	渡辺 勝・鈴木 則久
	25 軟鋼の炭酸ガス中酸化における確率過程(研究速報)	本間 禎一・細井 祥子
	29 塑性比による土の含水状態の表示とその利用につ いて (研究速報)	斎藤 孝夫・三木五三郎
	33 アルミニウムにイオン打ち込みをした ^{57}Fe のメス パワースペクトル (研究速報)	佐々 絃一・石田 洋一 加藤 正夫・金子象太郎
	36 多重後方散乱ガンマ線によるカーボン煉瓦厚さの測 定—第2報— (研究速報)	佐藤 乙丸・斎藤 秀雄 加藤 正夫
	40 研究室紹介	熊野谿研究室
26巻2号 (49年2月)	41 都市における災害・公害の防除に関する研究小特集 (その3)の発刊に当って (特集1)	川井 忠彦
都市にお ける災害・公 害の防除に 関する研究	42 都市構造物の耐震強度の調査研究概要 (特集2)	久保慶三郎
	44 鉄筋コンクリート部材の復元力特性 (第2報) (特 集2・1)	岡田 恒男・関 松太郎
	49 繰返し軸力を受ける鋼部材の復元力特性に関する研	田中 尚

小特集 (その3)

究 (特集 2・2)

- 54 都市交通公害対策の調査研究概要 (特集 3)
 57 自動車騒音の実態について (特集 3・1)

- 63 汚損条件下における電力供給システムの絶縁信頼度 (特集 3・2)

- 68 都市廃棄物対策の開発研究概要 (特集 4)
 71 一重項酸素とその関与する光化学反応 (特集 4・1)

- 78 微分パルスポーラログラフイーによる微量重金属の分析 (特集 4・2)

- 82 米国におけるエネルギー回収システムとしての固形廃棄物処理 (調査報告)

- 88 研究室紹介

26巻3号

- 89 地球資源探査衛星写真を用いた首都圏の環境調査 (研究解説)

- 100 Fe-W-4 wt%SiC 合金の抵抗焼結 (研究速報)

- 105 応答曲線を用いた機械構造物の各次振動特性の分離法第2報一位相曲線を考慮した場合 (研究速報)

- 109 Dropwise Condensation—The Effect of the Critical Size of Drop Detachment (I) (研究速報)

- 113 On the Critical Size of Drop Detachment During the Process of Dropwise Condensation (1) (研究速報)

- 116 Fatigue Properties of Resin Concrete Under Repeated Compression Loads (研究速報)

- 119 円筒液体貯槽の液面動揺の応答第1報—基礎式と正弦波解— (研究速報)

- 123 炭酸ガスによる軟鋼の酸化—X線によるひずみ測定— (研究速報)

- 126 多重後方散乱ガンマ線によるカーボン煉瓦厚さの測定第3報 (研究速報)

- 130 研究室紹介

越 正毅

亙理 厚・大野 進一

立石 泰三・西山 正一

高橋 伸晃・岩元 貞雄

河村 達雄・石井 勝

森田 和実・伊坂 勝生

武藤 義一・妹尾 学

阿部 隆夫・鋤柄 光則

本多 健一

早野 茂夫・篠塚 則子

熊野谿 従

藤井研究室

村井 俊治・加藤 洋一

吉田 保博

原 善四郎・坂井 徹郎

高橋 伸晃

TANASAWA Ichiro

OCHIAI Jun-ichi

EN-YA Shintaro

UTAKA Yoshio

TANASAWA Ichiro

OCHIAI Jun-ichi

KOBAYASHI Kazusuke

OHAMA Yoshihiko

ITO Toshiji

曾我部 潔・柴田 碧

本間 禎一・山沢 富雄

細井 祥子

佐藤 乙丸・斎藤 秀雄

加藤 正夫

石田研究室

C. 生研リーフレット

48年度は都合により発行しなかった。

D. 著書および学術雑誌などに発表したもの

—表題は原文表題

—各項目末尾の数字、文字は、順に巻 (太字)、号、ページ、発行所名、年、月 (西暦) を示す。巻のないものは、文字でその呼称を示す。

第 1 部

教授 一色 貞文 (ISSIKI Sadabumi)

一方向凝固させたアルミニウム—銅合金薄板の晶出共晶分布—(片岡邦郎・高正植・平林美子と共著)：軽金属学会第 44 回春季大会講演概要，15～16，1973. 5.

一方向凝固させたアルミニウム—銅合金の母相と晶出共晶相の結晶方位—(片岡邦郎・高正植・平林美子と共著)：日本金属学会第 73 回秋季大会一般講演概要，365～366，1973. 10.

教授 大井光四郎 (OI Koshiro)

FRP 複合材料のクリープ特性について (犬山文孝と共著)：機械学会全国大会前刷 No. 730—3. 1973. 10.

教授 鳥飼 安生 (TORIKAI Yasuo)

アルミニウムおよび焼結銅圧延板の音響複屈折 (李孝雄と共著)：日本音響学会講演論文集，29～30，1973. 10.

パルス超音波音場の計算：日本音響学会講演論文集，45～46，1973. 10.

教授 山田 嘉昭 (YAMADA Yoshiaki)

Theory and Practice in Finite Element Structural Analysis (coauthor: R. H. Gallagher): The Proceedings of 1973 Tokyo Seminar on Finite Element Analysis, University of Tokyo Press, 1973. 11.

Nonlinear Analysis by the Finite Element Method and Some Expository Examples (coauthors: K. Takatsuka, K. Iwata): Theory and Practice in Finite Element Structural Analysis, Univ. of Tokyo Press, 125～138, 1973. 11.

Finite Element Analysis of Steady Fluid and Metal Flow (coauthors: K. Ito, Y. Yokouchi, T. Tamano, T. Ohtsubo): Finite Element Methods in Flow Problems, UAH Press, Huntsville, Alabama, 465～469, 1974. 1.

Elastic-Plastic Analysis of Beams with Uniform Cross-Section Under Combined Loadings (2) (coauthor: K. Takatsuka): 生産研究 25, 6, 238～242, 1973. 6.

Finite Element Analysis of Load Cell Response in High Speed Tensile Testing (coauthor: Y. Nagai): 生産研究 25, 6, 259～262, 1973. 6.

Dynamic Response of Viscoelastic Materials to Sinusoidally Varying Loadings (coauthor: H. Takabatake): 生産研究 25, 7. 293～296, 1973. 7.

- 振動法による材料の粘弾性挙動の研究 (1), たわみ振動法 (山本昌孝・小林雅隆と共著): 昭和 48 年度塑性加工春季講演会, 講演論文集, 113~116, 1973. 5.
- 振動法による材料の粘弾性挙動の研究 (2), (小林雅隆・輪竹千三郎・高橋治道と共著) 同上, 117~120, 1973. 5.
- 平面変形モデルによるはりおよび柱の弾塑性解析 (高塚公郎と共著): 日本鋼構造協会 第 7 回大会研究集会, マトリックス構造解析法研究発表論文集, 307~316, 1973. 6.
- はりおよび殻構造物の非線形解析 (岩田耕司と共著): 同上, 331~340, 1973. 6.
- 粘弾性体の定常振動応答の解析 (高畑秀行と共著): 同上, 497~504, 1973. 6.
- 非圧縮定常粘性流への有限要素法の応用 (大坪敬・伊藤邦憲と共著): 同上, 597~604, 1973. 6.
- たわみ振動法による複合材料の動的粘弾性特性の研究 (山本昌孝と共著): 日科抜連, 第 6 回複合材料シンポジウム, 講演論文集, 155~160, 1973. 10.
- 有限要素法による構造物の非線形安定性解析 (岩田耕司と共著): 第 24 回塑性加工連合講演会, 講演論文集, 489~492, 1973. 11.
- しま数拡大法 (位相増幅干渉法) による弾性および塑性状態のひずみ測定 (輪竹千三郎・奥野卓夫と共著): 同上, 389~392, 1973. 11.
- 高次モアレ歪測定機の試作 (奥野卓夫・高島松雄・輪竹千三郎と共著): 昭和 48 年度精機学会秋季大会, 学術講演前刷, 363~364, 1973. 10.
- 有限要素法と非線形問題, 塑性と加工 (高塚公郎と共著): 14, 153, 758~765, 1973. 10.
- 材料および幾何学的非線形問題の数値解析, 日本航空宇宙学会誌, 21, 239, 33~44, 1974. 1.

教授 北川 英夫 (KITAGAWA Hideo)

- Fracture Mechanics Approach to Corrosion Fatigue Strength of Unnotched Steel Specimens—Further Examinations—(coauthor: I. Susuki): Corrosion and Protection Association and the Institute of Corrosion Technology Joint Meeting on Corrosion-Fatigue, UMIST, Manchester, UK, 1973. 4.
- Fracture Mechanics Approach to Threshold Conditions for Fatigue Crack Growth (coauthors: H. Nishitani, T. Matsumoto): Proc. 3rd Intern. Cong. on Fracture, München, Germany, Teil 6, V-444/A, 1973. 4.
- Growth of Distributed Cracks Under Fatigue Loading (coauthors: M. Isida, T. Ohira, M. Kuroda): Proc. 3rd Intern. Cong. on Fracture, München, Germany, Teil 2, I-521, 1973. 4.
- Some Examinations on Availability of the Finite Elements Method in Linear Fracture Mechanics (coauthors: M. Isida, M. Kuroda, O. Shitamura, R. Yuuki): Meeting on Finite Element Techniques in Fracture Mechanics, Univ. Stuttgart,

Stuttgart, Germany, 1973, 4, and Published in Intern. J. Fracture, 9, 337 1973.
Some of the Recent Results in Japan in the Fracture Mechanics Approaches to
Fatigue Crack Problems Related to Welded Structures, US-Japan Seminar on
Significance of Defects in Welded Structures, Tokyo, 1973. 10.

Propositions on Selected Problems in Fracture Mechanics Approaches to Fatigue,
US-Japan Seminar on Significance of Defects in Welded Structures, Tokyo,
1973. 10.

疲れき裂の成長に関する新実験法と成長過程の確率論的考察 (山田正治・西山雄一郎と
共著) : 日本材料学会第 22 期学術講演会前刷, 117 1973. 5.

複合材料の疲労破壊の基礎的研究 (その 1) —結合界面をもつ材料の疲労き裂の成長—,
(Y. S. Choy と共著) 第 6 回複合材料シンポジウム報文集 : 日本科学技術連盟 65,
1973. 10.

材料の表面と疲れ, トライボロジー研究会第 8 回講演会前刷集, 1973. 11.

異材境界における疲れき裂の成長 (Y. S. Choy・大平寿昭・今井英喜・内野和雄・粕谷
輝夫・飯沼勝彦と共著) : 日本材料学会, 日本機械学会疲労における最近の諸問題シ
ンポジウム論文集, 13, 1973. 11.

応力腐食われ, 遅れ破壊実験結果の破壊力学的取り扱いについて, 日本学術振興会第
129 委員会第 1, 2 分科会講演資料, 1973. 10.

ステンレス鋼の腐食疲れ, 防食技術, 22, 12, 489, 1973. 12.

大形技術開発についての一視点, 日本機械学会誌, 76, 659, 1221, 1973. 10.

ステンレス鋼便覧, 3. 5. 1 章, ステンレス鋼の腐食疲れ, 日刊工業新聞社, 245, 1973.
8.

教授 小瀬 輝次 (OSE Teruji)

海外における OTF 測定の実状 : 光学技術コンタクト 11. 4. p. 11, 1973.

OTF 測定のデジタル化 (武田光夫と共著) : 生産研究, 25, 9, 1973. 9.

教授 成瀬 文雄 (NARUSE Humio)

3 次元任意物体のまわりの成層流体のおそい流れ (西島勝一と共著) : 日本物理学会第
28 回年会予稿集 4, 140, 1973. 4.

流体力学における Matched Expansion 法 : 生産研究, 25, 6. 230~237, 1973. 6.

成層回転流体中の球のおそい運動 (西島勝一と共著) : 京都大学数理解析研究所講究録
187, 49~71, 1973. 9.

任意物体のまわりのおそい流れ : 日本物理学会分科会予稿集 4, 109, 1973, 11.

教授 辻 泰 (TUZI Yutaka)

モリブデン (110) 面の清浄化 (三浦忠男と共著) : 真空 16, 1, 28~32, 1973. 1.

オージェ電子分光関連文献一覧 (小野雅敏と共著) : 真空 16, 1, 9~21, 1973. 1.
真空の質の制御 (計測) : 第 20 回応用物理学関係連合講演会講演予稿集, 2, 3, 1973.
3.

Si (111) 面のイオン化損失スペクトル (水野元・三浦忠男と共著) : 第 20 回応用物理学関係連合講演会講演予稿集, 2, 304, 1973. 3.

低温のパイレックスガラス表面における水銀の吸着 (小林正典・浅尾薫と共著) : 第 14 回真空に関する連合講演会講演予稿集, 31, 1973. 11.

モリブデン (110) 面の初期酸化 (三浦忠男と共著) : 第 14 回真空に関する連合講演会講演予稿集, 39, 1973. 11.

助教授 根岸 勝雄 (NEGISHI Katsuo)

リース型一次元走査超音波ホログラフィ (高木 茂と共著) : 第 20 回応用物理学関係連合学術講演会予稿集, I-31, 1973. 3.

一次元走査超音波ホログラフィ (高木 茂と共著) : 日本音響学会講演論文集, 361~362, 1973. 5.

掃引型フェブリ・ペロ干渉計の分解能に及ぼすピンホールの影響 (高木堅志郎と共著) : 生産研究, 25, 6, 33~35, 1973. 6.

液面レリーフによる音場測定における表面張力効果 : 日本音響学会講演論文集, 41~42, 1973. 10.

光ヘテロダイン法による液体中の UHF 超音波の測定 (高木堅志郎と共著) : 第 18 回音波と物性の化学討論会講演論文集, 23~25, 1973. 11.

液面レリーフによる超音波音場の測定 : 電子通信学会超音波研究会資料, US 73-33, 1973. 12.

助教授 田村重四郎 (TAMURA Choshiro)

Behaviors of Submerged Tunnels During Earthquakes (coauthors: Shunzo Okamoto, Katsuyuki Kato, Masanori Hamada) : 5 WCEE, Rome, 1973.

基礎の耐震設計 : 基礎と地盤, 土木学会編, 8, 1973.

沈埋トンネルの地震時の歪の観測 (岡本舜三・加藤勝行と共著) : Proc. of the Japan Earthquake Engineering Symposium 1973.

Observations on Dynamic Strains of Submerged Tunnel During Earthquakes (coauthors: Shunzo Okamoto, Katsuyuki Kato) : Bulletin of ERS, No. 6.

助教授 小倉 磐夫 (OGURA Iwao)

A Segmented Lens for Improving Color Television Dot Patterns (coauthors: E. Yamazaki, et al.) : Journal of the Society of Motion Picture and Television Engineers 82, 149, 1973. 3.

Convergence and Asymptotic Behavior of the Solution for a High Intensity Single-Mode Gas Laser in the Form of Continued Fraction (coauthor K. Kuroda): Japanese Journal of Applied Physics 12, 1758, 1973. 11.

Decay Rate Measurements of Upper Laser Levels in He-Ne and He-Se Lasers (coauthors: S. Watanabe et al.): Japanese Journal of Applied Physics 13, 164, 1974. 1.

カラー受像管製造用不連続面補正レンズ (山崎映一ほか2名と共著) テレビジョン 27, 6, 1973.

単一モード He-Cd レーザーにおける Lamb dip の測定 (渡部俊太郎・千原正男と共著): 第34回応用物理学会学術講演会講演予稿集, 265, 1973. 10.

3.39 μm との競合を考慮した 0.6328 μm 用 He-Ne 気体レーザー反射鏡の設計 (中村正義と共著): 第34回応用物理学会学術講演会講演予稿集, 268, 1973. 10.

Cross Modulation による遷移確率の測定 (唐津修・占部伸二と共著): 第34回応用物理学会学術講演会講演予稿集 275, 1973. 10.

高出力レーザーにおける衝突の効果 (黒田和男と共著): 第34回応用物理学会学術講演会講演予稿集, 276, 1973. 10.

助教授 本間 禎一 (HOMMA Teiichi)

Nucleation and Growth Behavior of Oxide on Copper Single Crystals—Their Roles in Kinetics (coauthors: T. Yoneoka, S. Matsunaga): Proc. of the 2nd International Conference on Solid Surfaces, Kyoto, S 161 1974. 3.

軟鋼の炭酸ガス中酸化における確率過程 (細井祥子と共著): 日本金属学会第73回大会講演概要, 262, 1973.

筒形形 RHEED 装置による銅単結晶表面の初期酸化の研究 (米岡俊明と共著): 真空に関する連合講演会講演予稿集, 63, 1973.

金属表面の形態的微細構造と初期酸化: 真空 16, 392~402. 1973.

助教授 岡田 恒男 (OKADA Tsuneo)

スタッドのせん断ずれを考慮した合成形の弾塑性解析: 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1553~1554. 1973. 10.

多数回繰返し応力を受ける鉄筋コンクリート部材の復元力IV, V (関松太郎・伊藤秀夫・李利衡と共著): 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1407~1410, 1973. 10.

鉄筋コンクリート部材の復元力特性 (第2報) (関松太郎と共著): 生産研究 26. 2, 44~48, 1974. 2.

助教授 中桐 滋 (NAKAGIRI Shigeru)

衝撃を受ける片持梁の曲げ変形: 昭和48年度塑性加工春季講演会講演論文集, 53~56,

1973. 5.

有限要素法による一次元衝撃解析の一考察：生産研究 25, 10, 63~65, 1973. 10.

Postbuckling Behavior of Simply Supported Rectangular Plate with a Small Initial Deflection under Shear (coauthor: T. Udoguchi): Proc. 17 th Japan Nat. Congr. Appl. Mech., 170~178, 1973.

A Note on the Coupled Buckling Mode of an Elastic Plate with Initial Deflection: Proc. 21 st Japan Nat. Congr. Appl. Mech., 391~398, 1973.

塑性力学：日本機械学会誌, 76, 657, 26~28, 1973. 8.

塑性力学：塑性と加工, 14, 150, 507~514, 1973. 7.

助教授 鈴木 敬愛 (SUZUKI Takayoshi)

塑性変形した Si の熱伝導：日本物理学会 1973 年分科会予稿集, 2, 117, 1973. 11.

Si 中の転位によるフォノン散乱と熱伝導(中村和夫・鈴木敬子と共著：) 生産研究, 26, 1, 2~8, 1974. 1.

助教授 菊田 惺志 (KIKUTA Seishi)

格子定数の精密測定：応用物理学会第 2 回結晶工学講習会—X線回折, 顕微鏡の基礎と応用—予稿集, 1973. 6.

X線ホログラフィによる顕微法(青木貞雄と共著)：日本物理学会 1973 年秋季分科会講演予稿集, 2, 159, 1973. 11.

中性子の Si 単結晶における動力学的回折現象(石川育夫・星埜禎男・高良和武と共著)：日本結晶学会年会講演予稿集 41, 1973. 12.

講師 横内 康人 (YOKOUCHI Yasuto)

有限要素法による定常塑性流れ解析の試み(李沢淳・山田嘉昭と共著)：塑性加工春季講演会, 講演論文集, 109~112, 1973. 5.

板および殻の軸対称問題の弾塑性解析：塑性と加工, 14, 153, 779~787, 1973. 10.

有限要素法による軸対称殻の解析：第 24 回塑性加工連合講演会, 講演論文集, 493~496, 1973. 11.

有限要素法による弾塑性解析：第 392 回講習会, 材料力学における応力解析, 日本機械学会, 89~98, 1974. 2.

Finite Element Analysis of Steady Fluid and Metal Flow (coauthors: Y. Yamada, K. Ito, T. Tamano, T. Ohtsubo): Finite Element Methods in Flow Problems, UAH Press, Huntsville, Alabama, 465~469, 1974. 1.

助手 加藤 勝行 (KATO Katsuyuki)

Behaviors of Submerged Tunnels During Earthquakes (coauthors: Choshiro Tamura, Shunzo Okamoto, Masanori Hamada): 5 WCEE, Rome, 1973.

沈埋トンネルの地震時の歪の観測 (田村重四郎・岡本舜三と共著) : Proc. of the Japan Earthquake Engineering Symposium 1973 Observations of Dynamic Strains of Submerged Tunnel During Earthquakes (coauthors: Choshiro Tamura, Shunzo Okamoto): Bulletin of ERS, No. 6.

助手 森地 重暉 (MORICHI Shigeaki)

発生源の移動による地盤内の波動伝播状況についての実験的研究 (田村重四郎と共著) : 第 28 回年次学術講演会講演概要集第 1 部, 土木学会, 1973. 10.

助手 関 松太郎 (SEKI Matsutaro)

多数回繰返し応力を受ける鉄筋コンクリート部材の復元力IV (地震応答変位振幅を受ける部材) : (岡田恒男・伊藤秀夫と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1407~1408, 1973. 10.

鉄筋コンクリート部材の復元力特性 (第 2 報) (岡田恒男と共著) : 生産研究 26.2, 44~48, 1974. 2.

助手 小林 正典 (KOBAYASHI Masanori)

原子・分子の表面滞在時間 (τ) (富永五郎と共著) : 応用物理 42, 8, 837, 1973. 8.

助手 金子 幸臣 (KANEKO Satiomi)

多角形領域の Stokes 問題の数値解法 : 京都大学数理解析研究所講究録 187, 26~48, 1973. 9.

断片的に解析的な境界値問題に関する高速高精度の数値解法 : 生産研究, 26, 29~17, 1974. 1.

助手 久保田敏弘 (KUBOTA Toshihiro)

Subtraction による等濃度線の形成 (立田光広・小瀬輝次と共著) : 第 20 回応用物理学関係連合学術講演会予稿集 1, 21, 1973. 4.

超解像ホログラフィ (鈴木章義・武田光夫と共著) : 光学, 2, 213, 1973. 8.

Area Modulation による等濃度線の形成 (立田光広・小瀬輝次と共著) 第 34 回応用物理学学会学術講演会予稿集 1, 88, 1973. 10.

ゾーンプレートのもアレ縞を利用する像面位置決定法 (飯島俊幸・小瀬輝次と共著) : 第 34 回応用物理学学会学術講演会予稿集 1, 65, 1973. 10.

第 2 部

教授 鈴木 弘 (SUZUKI Hiromu)

- ホットタンデムミルの制御系の検討手法(小西正躬と共著)：塑性と加工，14，147，274，1973. 4.
- 棒の二方向矯正における変形機構に関する一考察(荒木甚一郎・山本直道と共著)：生産研究，25，4，166，1973. 4.
- 密度変化を伴う合せ板の圧延に関する基礎的研究(饗場誠・荒木甚一郎と共著)：昭和48年度塑性加工春季講演会論文集，217，1973. 5.
- ロールフォーミングに関する実験的研究—第16報，V形断面の曲げ部およびその近傍の肉べりについて—(木内学・新谷賢・三浦史明と共著)：昭和48年度塑性加工春季講演会論文集，326，1973. 5.
- 広幅断面のロール成形に関する実験的研究—第6報，成形過程における歪挙動に与える各種条件の影響—(木内学・新谷賢・三浦史明と共著)：昭和48年度塑性加工春季講演会論文集，327，1973. 5.
- 広幅断面のロール成形に関する実験的研究—第6報，成形過程における歪挙動に与える各種条件の影響—(木内学・新谷賢・三浦史明と共著)：生産研究，25，7，306，1973. 7.
- ロールフォーミングに関する実験的研究—第15報，円弧形断面を有する製品の形状に関する検討—(木内学・高田研二と共著)：生産研究，25，7，303，1973. 7.
- 繰り反し曲げにおける軸力と曲率が寸法変化に及ぼす影響—丸棒の矯正における寸法変化に関する研究，I—(荒木甚一郎・磯島豊・北沢実雄と共著)：塑性と加工，14，151，656，1973. 8.
- 回転曲げ矯正における寸法変化の機構—丸棒の矯正における寸法変化に関する研究，II—(荒木甚一郎・北沢実雄と共著)：塑性と加工，14，152，681，1973. 9.
- 生産加工の単位技術の最適化の重要性：生産研究，25，10，413，1973. 10.
- 幅方向圧力分布と材料の塑性流動について—エッジドロップの基礎的研究，第1報—(阿高松男・杉山澄雄と共著)：第24回塑性加工連合講演会論文集，106，1973. 11.
- 棒の二方向矯正における変形過程に関する解析法(荒木甚一郎・山本直道と共著)：第24回塑性加工連合講演会論文集，123，1973. 11.
- 圧延作業の理論的研究—その最近における進歩の概況—：塑性と加工，14，154，945，1973. 11.
- 棒の二方向矯正における変形機構に関する一考察(荒木甚一郎・山本直道と共著)：塑性と加工，15，156，1974. 1.

教授 平尾 収 (HIRAO Osamu)

人動車心理学のすすめ—日本交通科学協議会第9回総会発表予稿集—日本交通科学協議

会, 1973. 5.

Automobiles in urban areas 1st Automotive Engineering conference. Paper 7, Society of Automotive Engineers of Japan and Society of Automotive Engineers-Australasia. May. 1973.

人動車の車線変更特性とステップ横力特性に対するハンドル系の微分項の影響 (安部正人外 3名と共著): 自動車技術会論文集, 自動車技術会 1973年 No. 5.

都市と自動車—国際交通シンポジウム—朝日新聞社 1973. 9.

環境, 人間, 自動車系の問題点, 自動車技術会講習会教材, 自動車技術会 1973. 8.

教授 亘理 厚 (WATARI Atsushi)

過渡応答による動特性試験法(岩元貞雄・西山正一・竹間勇と共著): 自動車技術会論文集, 6, 1973. 11.

感度解析—自動車の運動力学への応用—(岩元貞雄・井上茂と共著): 自動車技術会論文集, 6, 1973. 11.

ESV 試験法と感度解析(岩元貞雄・西山正一・井上茂と共著): 自動車技術会総会講演論文集, 1973. 5.

ばね下質量を考慮した等価運動力学系(岩元貞雄と共著): 自動車技術会秋期大会講演論文集, 1973. 10.

自動車騒音について: 自動車技術会騒音シンポジウム: 1973. 12.

教授 水町 長生 (MIZUMACHI Nagao)

部分送入ラジアルタービンの研究—第2報動翼内の流れの計算—(前田徹・遠藤敏彦・筒井康賢と共著): 日本機械学会講演論文集, No. 730~6, 1973. 4.

部分送入ラジアルタービンの研究—第3報 圧縮性を考慮した計算—(筒井康賢・遠藤敏彦と共著): 日本機械学会講演論文集, No. 730~15, 1973. 10.

教授 松永 正久 (MATSUNAGA Masahisa)

A Study of Fatigue Damage by the Surface Observation of Electrodeposited Copper Crystals (coauthors: H. Miyamoto, Y. Hagiuda, N. Chiba): Dritte Internationale Tagung über den Bruch, III 232 München 1973. 4.

平面応力下における金属表面の疲れ分布き裂に関する研究, (萩生田善明と共著): 日本機械学会講演論文集, No. 730~1, 81~84, 1973. 4.

表面測定法とその摩耗及び潤滑研究への応用: 潤滑, 18, 4, 252~256, 1973. 4.

高真空中における二硫化モリブデンの摩擦の研究: 日本潤滑学会春季研究発表会前刷, 9~12, 1973. 5.

Fatigue Cracks Under Plane Stress in Electrodeposited Copper Single Crystals—Part I and II (coauthor: Y. Hagiuda): 生産研究 25, 7, 300~302, 1973. 7: 25,

- 11, 491~493, 1973. 11.
- 二硫化モリブデンの摩擦における雰囲気効果(中川多津夫と共著): 日本潤滑学会秋季講演会予稿集, A10, 61, 1973. 10.
- 固体潤滑剤(アニユアルレビュー)(所外1氏と共著): 潤滑, 18, 9, 667~676, 1973. 9.
- Frictional Behavior of Synthetic Molybdenum Disulfide in High Vacuum (coauthor: T. Nakagawa): 生産研究, 25, 11, 507~509, 1973. 11.
- 真空中の摩擦と潤滑: 材料加工, 3, 11, 46~49, 1973. 12.
- 表面研磨: 化学便覧, 応用編, 改訂2版, 1225~1226, 1973. 11.
- Programme Controlled Polishing Machine in Japan: Oberfläche-Surface (Zürich) 14, 5, 143, 1973. 5.
- Fatigue Damage on Electroplated ABS Plastics (coauthor: Y. Hagiuda): Proc. 8th Congress of the International Union for Electrodeposition and Surface Finish, 377~382, 1973.
- 固体潤滑: 表面, 12, 2, 67~72, 1974. 2.
- Frictional Behavior of Molybdenum Disulfide in High Vacuum: Preprint of 6th International Conf. on Vacuum Science, 75, 1974. 3.

教授 大島康次郎 (OSHIMA Yasujiro)

- 水噴流の側壁付着現象—制御流のある場合—(木下修と共著): 計測自動制御学会論文集, 9, 1, 22~28, 1973. 2.
- A Method of Automatic Mask Alignment (coauthors: K. Okamoto, Y. Matsumoto): Preprint of IMEKO VI, Section 5, 136~144, 1973. 6.
- 最適制御問題の近似解法と評価関数値の限界 (小林幹夫と共著): 計測自動制御学会論文集, 9, 4, 387~392, 1973. 8.
- 水噴流の側壁付着現象—付着噴流の速度分布—(木下修と共著): 第16回自動制御連合講演会前刷 241~242, 1973. 10.

教授 石原 智男 (ISHIHARA Tomo-o)

- 油膜法による流体継手内の流れおよび円柱群まわりの流れの観察 (小林敏雄と共著): 流れの可視化に関するシンポジウム (第1回), 37~40, 1973. 7.
- 回転円柱近傍にある静止円柱に作用する流体力の特性 (小林敏雄・佐賀徹雄・佐藤良と共著): 日本機械学会第833回講演会講演論文集, 730. 11, 97~100, 1973. 8.
- 有限要素法による静圧軸受の解法 (田中裕久と共著): 日本機械学会第51期全国大会講演会講演論文集, 730, 18, 255~258, 1973. 10.

教授 高橋 幸伯 (TAKAHASHI Yukinori)

- 大型鉾石運搬船の船首部波浪荷重および鉾石圧に関する実船試験 (安藤文隆ほかと共

- 著) : 造船研究協会, 研究資料, 187, 1974. 3.
- 実船塔載用波浪計に関する研究 (田宮真ほかと共著) : 造船研究協会, 研究資料, 193, 1974. 3.
- 船体撓み監視装置開発事業報告書 (佐伯庄吾ほかと共著) : 船用機器開発協会, 47. 19, 1973. 4.
- 大型船における船体たわみの動的計測 (能勢義昭ほかと共著) : 造船学会論文集, 134, 1973. 12.
- Wave Loads, Statistical Approach (coauthors: N. Nordenström et. al.): Proc. 5th International Ship Structural Congress, Hamburg, 1973, 1973. 9.

教授 柴田 碧 (SHIBATA Heki)

- Auto Disign of Piping Systems (coauthor: H. Sasama): Bull. of JSME, 16, 92, 205, 1973. 2.
- 模型貯油槽の振動実験 (曾我部潔と共著) : Rept. of ERS, No. III-2, 1973. 3.
- 化学プラントの耐震設計の基本構成 : 機械学会講演論文集, No. 730~3, 159, 1973. 4.
- 図面の自動読み取りのための一方法 : 機械学会講演論文集, No. 730~3, 29, 1973. 4.
- 化学プラントの耐震設計—最近の展望化学工学 37, 4, 359, 1973. 4.
- 原子炉異常診断に対する一考え方—異常診断時間の短縮について (福田敏男・原文雄と共著) : 機械学会講演論文集, No. 730~7, 99, 1973. 5.
- On Fluctwation of Responses of a Structure (coauthors: M. Yamamuro, T. Shigeta etc.): Proc. of 5 World Conf. on Earthq. Eng'g., 8 B, # 367, 1973, 6.
- 振動による配管の破壊実験 (鶴戸口英善・佐々木陽一ほか2名と共著) : Proc. of Japan Earthq. Eng'g. Symp.-1973, A-4, 21, 1973. 8.
- On Estimated Mode of Failures of Nuclear Power Plants by Potential Earthquakes (coauthors: K. Akino, etc.): Proc. of 2 Int. Conf. on Structural Mechanics in Reactor Technology, K 3/1, 1973. 9.
- An Experimental Study on the Response of a Model System to Natural Earthquakes in the Field and on a Shaking Table (coauthors: M. Yamamuro, T. Shigeta, etc.): K 5/5, 1973. 9.
- Pipe Rupture by Seismic Vibration Test (coauthors: Y. Udoguchi, Y. Sasaki etc.): Paper to 2 Int. Conf. on Pressure Vessel Technology 1973. 10.
- 円筒型液体貯槽模型の自然地震応答観測実験概報 (曾我部潔, 重田達也と共著) : 機械学会講演論文集 No. 730~14, 157, 1973. 10.
- 化学プラントの耐震設計に関する基本構想第2報—耐震性, 強度について (山田幸雄と共著) : 機械学会講演論文集 No. 730~14, 153, 1973. 10.
- 化学プラントの地震災害と防止対策—耐震設計のあり方 '73 化学プラント技術会議, セ

ション 4, 1973. 10.

図面の自動読取り装置の試作 (吉田隆三・出沢正徳と共著): 機械学会講演論文集 (山梨), 1, 1973. 11.

教授 川井 忠彦 (KAWAI Tadahiko)

都市における災害・公害の防除に関する研究一小特集 (その 2) の発刊に当って一: 生産研究, 25, 2, 37~38, 220, 1973. 2.

梁理論の精密化に関する二, 三の試み (その 1) —梁理論の基礎— (藤谷義信と共著): 生産研究, 25, 6, 211~220, 1973. 6.

梁理論の精密化に関する二, 三の試み (その 2)—Saint-Venant 振り問題— (藤谷義信と共著): 生産研究, 25, 7, 265~277, 1973. 7.

梁理論の精密化に関する二, 三の試み (その 3)—Saint-Venant の振り問題 (続)— (藤谷義信と共著): 生産研究, 25, 9, 361~372, 1973. 9.

梁理論の精密化に関する二, 三の試み (その 4) —梁の剪断変形理論— (藤谷義信と共著): 生産研究, 25, 11, 479~490, 1973. 11.

有限要素法による変断面梁の曲げねじり自由振動解析— (椎名章二・藤谷義信と共著): 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会マトリックス構造解析研究発表論文集, 89~96, 1973. 6.

船体構造解析プログラムについての一考察: 日本造船学会誌, 第 527 号, 232~241, 1973. 5.

補強板の解析に関する二, 三の考察— (藤谷義信・麻生哲夫と共著): 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会マトリックス構造解析研究発表論文集, 153~160, 1973. 6.

薄板構造解析 (川島矩郎・三本木茂夫と共著): コンピューターによる構造工学講座 II-7-A, 培風館, 1973. 6.

有限要素法による電解反応の解析—第 3 報 ダブルポテンシャル法への応用— (藤谷義信・木原哲昭・渡辺正と共著): 生産研究, 25, 3, 113~117, 1973. 3.

有限要素法による電解におけるイオン拡散解析 (藤谷義信・木原哲昭・渡辺正と共著): 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会マトリックス構造解析法研究発表論文集, 633~670, 1973. 6. および東京大学大型計算機センター拡散問題シンポジウム報文集, 107~115, 1973. 7.

アナロジーを利用した流体力学問題の解析: 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会マトリックス構造解析法研究発表論文集, 89~96, 1973. 6.

有限要素法の非構造分野への応用: 第 12 回生研講習会テキスト, 1973. 10.

高圧力技術と有限要素法: 圧力技術, 285~288, 1973. 9.

On the Finite Element Analysis of Diffusion Problem: Theory and Practice in Finite Element Structural Analysis, Proceedings of the 1973 Tokyo Seminar on the Finite Element Analysis, Univ. of Tokyo Press, 541~555, 1973. 11.

On the Development of the "PASSAGE" Program (coauthors: M. Yoshiki, T. Okabe, M. Hidaka): Theory and Practice in Finite Element Structural Analysis, Proceedings of the 1973 Tokyo Seminar on the Finite Element Analysis, Univ. of Tokyo Press, 541~555, 1973. 11.

On the Finite Element Analysis of Thin-walled Structures with Application to Structural Problems in Reactor Technology (coauthors: T. Muraki, T. Toyoshi): Structural Mechanics in Reactor Technology, 4, K 7/3, 1973. 9.

教授(併) 田宮 真 (TAMIYA Shin)

キャビテーション侵蝕の研究 (佐藤隆一・加藤洋治と共著): 日本造船学会論文集, 134, 53~64, 1973. 12.

助教授 佐藤 壽芳 (SATO Hisayoshi)

板による工作機械構造の振動特性計算法に関する研究 (黒田佳男・大堀真敬と共著): 日本機械学会講演論文集, 730~4, 217~220, 1973. 4.

衝撃応答のパワー・スペクトルによる減衰定数推定の方法 (三井公之と共著): 日本機械学会講演論文集, 730~3, 123~126, 1973. 4.

工作機械構造の振動解析に関する基礎研究 (黒田佳男・相良誠と共著): 日本鋼構造協会第7回大会研究集会, マトリックス構造解析法研究発表論文集, 543~550, 1973. 6.

On the Response Analysis of the Structure System Subjected to Multi-Seismic Motions (coauthor: K. Suzuki): Proc. 5 WCBE, 1B-19, 1973. 6.

昭和48年機械工学年鑑, 12 切削・工作機械, 12. 2. 工作機械: 日本機械学会誌, 76~657, 117~118, 1973. 8.

Development and its Application of the Finite Element Method for the Vibration Analysis of Machine Tool Structure (coauthors: Y. Kuroda, M. Sagara): Proc. 14th MTDR, 1973. 9.

The Response Spectrum Analysis of Building Appendage System to an Artificial Earthquake with Two Ground Predominant Periods: Preprint 2nd SNIRT Conf. K 6/2, 1973. 9.

工作機械の振動に関する研究動向: 日本機械学会誌, 76~658, 1105~1113, 1973. 9.

2つの卓越周期を有する模擬地震動にたいする付加機器系の応答: 日本機械学会講演論文集, 730~14, 161~164, 1973. 10.

工作機械構造の振動特性の推定について: 生産研究, 25, 10, 415~427, 1973. 10.

二つの地盤卓越周期をもつ地震動に対する構築物系の応答: 日本機械学会論文集, 40~329, 167~175, 1974. 1.

減衰定数の推定法について (竹中規雄・三井公之・坪孝・市村三則と共著): 日本機械

学会工作機械の剛性および切削性能の向上に関する研究分科会成果報告書, 1974. 2.
板による工作機械構造の振動特性計算法 (大堀真敬・駒崎正洋・黒田佳男・相良誠と共著): 同上.

旋盤の振動特性測定: 同上

薄板による工作機械構造の振動特性計算プログラム (相良誠, 大堀真敬と共著): 同上
付録.

微動による工作機械の振動特性の測定 (坏孝と共著): 機械の研究, 26~3, 1974. 3.

助教授 棚澤 一郎 (TANASAWA Ichiro)

生体における熱定数の計測 (勝田直と共著): 第3回バイオメカニズムシンポジウム論文前刷集, 1973. 7.

Experimental Study on Dropwise Condensation (coauthor: J. Ochiai): Bull. JSME, 16, 98, 1184~1197, 1973. 8.

Study on the Process of Drop Growth due to Coalescence during Dropwise Condensation (coauthors: F. Tachibana, J. Ochiai): Bull. JSME, 16-99, 1367~1375, 1973. 9.

高加速度場における滴状凝縮過程の研究 (第1報) (落合淳一・塩治震太郎・宇高義郎と共著): 日本機械学会講演論文集, No. 735~2, 211~214, 1973. 11.

生体における熱定数の計測 (勝田直と共著): 「バイオメカニズム2 (バイオメカニズム学会編)」, 東大出版会, 17~23, 1973. 12.

助教授 木内 学 (KIUCHI Manabu)

ロールフォーミングに関する実験的研究 (第16報)—V形断面の曲げ部およびその近傍の肉べりについて—: (鈴木弘・新谷賢・三浦史明と共著) 昭和48年度塑性加工春期講演会論文集, 325, 1973.

広幅断面のロール成形に関する実験的研究 (第6報)—成形過程における歪挙動に与える各種条件の影響—: (鈴木弘・新谷賢・三浦史明と共著) 昭和48年度塑性加工春期講演会論文集, 329, 1973.

ロールフォーミング加工における材料の変形挙動・製品形状と材料特性: 特殊鋼, 22, 9, 18, 1973.

ロールフォーミング加工と材料: 第43回塑性加工シンポジウム講演論文集, 11, 1973.

ロールフォーミング加工の成形過程における材料の変形挙動: 鉄と鋼, 37, 59, 11, 1973.

助教授 前田 久明 (MAEDA Hisaaki)

実船搭載用波浪計に関する研究 (田宮真他と共著): 日本造船研究協会, 研究資料 177, 1974, 3.

助教授 中川 威雄 (NAKAGAWA Takeo)

- 曲げ加工性の良い表面脱炭ベイナイト鋼について：日本鉄鋼協会第 85 回講演大会 (川瀬尚男・吉田清と共著)：鉄と鋼 59, 4, 146, 1973. 3.
- せん断縁の伸び限界に及ぼす圧縮力の影響 (第 1 報) (V. Cupka, 高野豊晴・町田輝史と共著)：昭和 48 年度塑性加工春季講演会講演論文集 215~220, 1973. 5.
- Cold Forging and Extrusion of Green Metal Powder (coauthors: T. Amano, N. Nagase)：4 th Int'l P/M Conference, Toronto, 1973. 7.
- Compacting of Long Length and High Density P/M Bar and Tube by Rotary Swaging (coauthor: T. Amano)：4 th Int'l P/M Conference, Toronto, 1973. 7.
- The Cold Forging of Ferrous P/M Preforms (coauthors: K. Obara, Y. Nishino, Y. Saito, T. Amano)：4 th Int'l P/M Conference, Toronto, 1973. 7.
- Compacting of High Density P/M Bar by Rotary Swaging (coauthor: T. Amano)：Annals of the CIRP 22/1, 85~86, 1973. 8.
- Fine Bending with Counter Pressure (coauthors: V. Cupka, H. Miyamoto)：Annals of CIRP 22/1, 73~74, 1973. 8.
- Improvement of Deformability of Sheared Edge by Application of Additional Compression (coauthors: V. Cupka, T. Machida)：14 th Int'l MTDR, 1973. 9.
- 焼結冷鍛の現状と将来 (天野富男と共著)：生産研究 25, 10, 51~54, 1973. 10.
- 鉄系焼結体の引張試験における異方性 (天野富男・大木茂と共著)：昭和 48 年度粉体粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 80~82, 1973. 10.
- せん断縁の伸び限界に及ぼす圧縮力の影響 (第二報) (V. Cupka, 高野豊晴・町田輝史と共著)：第 24 回塑性加工連合講演会講演論文集, 233~236, 1973. 11.
- Pre-coining によるせん断縁破断の防止 (曲げ割れ防止に関する研究第二報) (鈴木清・町田輝史と共著)：第 24 回塑性加工連合講演会講演論文集, 241~244, 1973. 11.
- 粉末鍛造の動向：日本塑性加工学会冷間鍛造分科会, 昭和 48 年度第 2 回研究集会, 資料番号 48~19, 1973. 11.
- プレス加工概論—伸びフランジ成形：プレス技術 11, 12, 116~121, 1973. 12. 12, 1, 101~106, 1974. 1.

助教授 小林 敏雄 (KOBAYASHI Toshio)

- 油膜法による流体継手内の流れおよび円柱群まわりの流れの観察 (石原智男と共著)：流れの可視化に関するシンポジウム講演論文集 37~40, 1973. 7.
- 回転円柱近傍にある静止円柱に作用する流体力の特性 (石原智男・佐藤良・佐賀徹雄と共著)：日本機械学会講演論文集 730~11, 97~100, 1973. 8.
- 回転円柱近傍にある静止円柱に作用する流体力の特性—第 1 報 履歴現象 (佐藤良・石原智男・佐賀徹雄と共著)：生産研究 25, 8, 31~33, 1973. 8.

流れの可視化に関するシンポジウム (石原智男と共著): ターボ機械協会誌 1, 1, 5~11, 1973. 11.

助教授 吉識 晴夫 (YOSHIKI Haruo)

微小変動静圧分布測定のための基礎研究 (小池典夫と共著): 機械学会講演論文集, 730-16, 109~112, 1973. 10.

助教授 増沢 隆久 (MASUZAWA Takahisa)

放電加工の電極送り制御: 生産研究, 25, 10, 1973. 10.

放電による微細穴あけ加工: 機械技術, 22, 3, 1974. 3.

講師 鈴木 浩平 (SUZUKI Kohei)

複数の入力を受ける機械構造物の地震応答解析 (第2報, 入力間の時間差が応答に与える影響について); 日本機械学会論文集, 39, 320, 1215~1224, 1973. 4.

多入力をうける機械構造物の地震応答解析 (第4報, 非対称な2入力モデルによる弾・塑性応答): 日本機械学会講演論文集, 730-4, 163~166, 1973. 4.

多入力をうける機械構造物系の不規則振動応答解析 (機器・配管モデルの地震応答解析): 日本機械学会講演論文集, 730-7, 131~138, 1973. 5.

On the Response Analysis of Machine Structure System Subjected to Multi-Seismic Motions (coauthor: H. Sato): Proceed. 5th World Conference on Earthquake Eng'ng in Rome, 1, 1B-19, 1~10, 1973. 6.

2入力をうける配管モデルの地震応答解析: 配管技術, 9月号, 69~76, 1973. 9.

構内2地点における地震波の測定と解析 (佐藤寿芳・大堀真敬・駒崎正洋と共著): 生産研究, 25, 11, 39~41, 1973. 11.

A Study on Response Analysis of Machine Structure System Subjected to Two-Seismic Motions (2nd Report, On the Effect of Time-Lag Interval Between Inputs): Bull. JSME, 15, 102, 1877~1886, 1973. 12.

元講師 荒木甚一郎 (ARAKI Jin-ichiro)

棒の2方向矯正における変形機構に関する一考察 (鈴木弘・山本直道と共著): 生産研究 25, 4, 1973. 4.

密度変化を伴う合せ板の圧延に関する基礎的研究 (鈴木弘・外1名と共著): 塑性加工春季講演会講演論文集 1973. 5.

矯正: 塑性と加工, 14, 150, 1973. 7.

繰り返し曲げにおける軸力と曲率が寸法変化に及ぼす影響 (丸棒の矯正における寸法変化に関する研究I) (鈴木弘・外2名と共著): 塑性と加工, 14, 151, 1973. 8.

回転曲げ矯正における寸法変化の機構 (丸棒の矯正における寸法変化に関する研究II)

- (鈴木弘・外1名と共著)：塑性と加工 14, 152, 1973. 9.
矯正技術に関する基礎理論：生産研究 25, 10, 1973. 10.
棒の2方向矯正における変形過程に関する一解析法（鈴木弘・山本直道と共著）第24回塑性加工連合講演会講演論文集 1973. 11.
棒の2方向矯正における変形機構に関する一考察（鈴木弘・山本直道と共著）塑性と加工 15, 156, 1974. 1.
矯正機の支点数および支点配置が矯正材の最終曲率に及ぼす影響（矯正材の変形過程に関する一解析法—第4報）（山本直道と共著），塑性と加工, 15, 158, 1974. 3.

研究員 原 文雄 (HARA Fumio)

- A Theory on the Two-Phase Flow Induced Vibration in Piping Systems: Proc. of 2 Int. Conf. on Structural Mechanics in Reactor Technology, K 3/1, 1973. 9.

研究嘱託 出沢 正徳 (IDESAWA Masanori)

- A System to Generate a Solid Figure from Three View: Bull. of JSME, 16, 92, 216, 1973. 2.
図面の自動読取りのための一方法：第15回プログラミング・シンポジウム報告集, A5, 43, 1974. 1.

助手 萩生田善明 (HAGIUDA Yoshiaki)

- A Study of Fatigue Damage by the Surface Observation of Electrodeposited Copper Crystals (coauthors: M. Matsunaga, N. Chiba): Dritte Internationale Tagung über den Bruch, München, 1973. 4.
平面応力下における金属表面の疲れ分布き裂に関する研究（松永正久と共著）：日本機械学会講演会論文集, No. 730—1, 81~84, 1973. 4.
表面測定法とその摩耗及び潤滑研究への応用：潤滑, 18, 4, 252~256, 1973. 4.
高真空中における二硫化モリブデンの摩擦の研究：日本潤滑学会春季研究発表会前刷, 9~12, 1973. 5.
Fatigue Cracks under Plane Stress in Electrodeposited Copper Single Crystals-Part I and II (coauthor: M. Matsunaga): 生産研究, 25, 7, 300~302, 1973. 7; 25, 11, 491~493, 1973. 11.
Fatigue Damage on Electroplated ABS Plastics (coauthor: M. Matsunaga): Proc. 8th Congress of the International Union for Electrodeposition and Surface Finish, 377~382, 1973.

助手 遠藤 敏彦 (ENDO Toshihiko)

- 部分送入ラジアルタービンの研究（第二報）（水町長生・前田徹・筒井康賢と共著）：機

械学会講演論文集, 730—4, 1973. 4.

部分送入ラジアルタービンの研究(第三報)(水町長生・筒井康賢と共著): 機械学会講演論文集, 730—15, 1973. 10.

助手 高橋 伸晃 (TAKAHASHI Nobuaki)

応答曲線を用いた機械構造物の各次振動特性の分離法: 機械学会第 51 期全国大会講演論文集, 730—14, 141—144, 1973. 10.

応答曲線を用いた機械構造物の各次振動特性の分離法(第二報 位相曲線を考慮した場合): 機械学会東海地方講演会講演論文集, 1974. 3.

助手 藤谷 義信 (FUJITANI Yoshinobu)

梁理論の精密化に関する二・三の試み(その 1) —梁理論の基礎— (川井忠彦と共著): 生産研究, 25, 6, 211—220, 1973. 6.

梁理論の精密化に関する二・三の試み(その 2) —Saint-Venant の振り問題— (川井忠彦と共著): 生産研究, 25, 7, 265—277, 1973. 7.

梁理論の精密化に関する二・三の試み(その 3) —Saint-Venant の振り問題(続)— (川井忠彦と共著): 生産研究, 25, 9, 361—372, 1973. 9.

梁理論の精密化に関する二・三の試み(その 4) —梁の剪断変形理論— (川井忠彦と共著): 生産研究, 25, 11, 479—490, 1973. 11.

はり理論の精密化に関する研究(その 1, はりのせん断変形解析): 日本建築学会大会学術講演梗概集, 519—520, 1972. 10.

仮想仕事の原理による柱の弾性座屈に関する基礎方程式の誘導について: 日本鋼構造協会解析小委員会資料, 1973, 3,

補強板の解析に関する二・三の考察: (川井忠彦・麻生哲夫と共著): 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会マトリックス構造解析法研究発表論文集, 153—160, 1973. 6.

有限要素法による電解反応の解析(第 3 報)—ダブルポテンシャルステップ法への応用— (川井忠彦・本多健一・木原哲昭・渡辺正と共著): 生産研究, 25, 3, 113—117, 1973. 3.

有限要素法による電解におけるイオン拡散解析(木原哲昭・渡辺正と共著): 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会マトリックス構造解析法研究発表論文集, 663—670, 1973. 6. および東京大学大型計算センター拡散問題シンポジウム報文集, 107—115, 1973. 7.

助手(特別研究員) 阿高 松男 (ATAKA Matsuo)

タンデム圧延の制御系の最適化について: 生産研究, 25, 10, 1973. 10.

エッジドロップの基礎的研究(第 1 報)—幅方向圧力分布と材料の塑性流動について(鈴木弘・杉山澄雄と共著): 第 24 回塑性加工連合講演会論文集, 1973. 11.

助手 天野 富男 (AMANO Tomio)

Cold Forging and Extrusion of Green Metal Powder (coauthors: T. Nakagawa, N. Nagase): 4th Int'l P/M Conference, Toronto, 1973. 7.

Compacting of Long Length and High Density P/M Bar and Tube by Rotary Swaging (coauthor: T. Nakagawa): 4th Int'l P/M Conference, Toronto, 1973. 7.

The Cold Forging of Ferrous P/M Preforms (coauthors: K. Obara, Y. Nishino, Y. Saito, T. Nakagawa): 4th Int'l P/M Conference, Toronto, 1973. 7.

Compacting of High Density P/M Bar by Rotary Swaging (coauthor: T. Nakagawa): Annals of the CIRP 22/1, 85—86, 1973. 8.

焼結冷鍛の現状と将来 (中川威雄と共著): 生産研究 25, 10, 51—54, 1973. 10.

鉄系焼結体の引張試験における異方性 (中川威雄・大木茂と共著): 昭和48年度粉末冶金協会秋季大会講演概要集, 80—82, 1973. 10.

助手 小林 幹夫 (KOBAYASHI Mikio)

最適制御問題の近似解法と評価関数値の限界 (大島康次郎と共著): 計測自動制御学会論文集, 9, 4, 387—392, 1973. 8.

助手 小池 典夫 (KOIKE Norio)

微小変動静圧分布測定のための基礎研究 (吉識晴夫と共著): 機械学会講演論文集, 730—16, 109—112, 1973. 10.

第 3 部

教授 斎藤 成文 (SAITO Shigebumi)

M-3C 型ロケット用塔載アンテナ系について (浜崎襄二・市川満・須田幸暉・谷岡憲隆と共著): 宇宙航空研究所報告, 9, 1(A), 1—18, 1973.

精測レーダ (角度追尾系への要求とその解決) (浜崎襄二・野村民也・渡部優・遠藤義昭・中司浩生・篠原英男・三好一雄・尾形良征と共著): 三菱電機技報, 47, 3, 300—309, 1973.

セルフロックを用いたレーザ式電流計測器 (藤井陽一・横山幸嗣と共著): 昭和48年度電気学会全国大会, p. 1414, 1973. 4.

インコヒーレント光の高感度ヘテロダイン検出 (藤井陽一・西本博信・滝本英之と共著): 昭和48年度電子通信学会全国大会講演論文集, 第4冊, p. 960, 1973.

オプトエレクトロニクス特集 1. 総論: 電子通信学会誌 56, 4, 450—455, 1973, 4.

宇宙と画像：昭和 48 年度画像電子学会第 1 回全国大会特別講演予稿 1973.
雑感 (Miscellaneous Thoughts)：日本無線枝報，第 7 号 p. 3～，1973.
オプトエレクトロニクスの将来と現状：昭和 48 年度電気四学会連合大会特別講演 1973.
10.
科学衛星裏話：IEEE 東京支部フェロー講演会 1974. 2.
レーザ光線を利用したシールド機械の方向制御装置 (丸安隆和・藤井陽一と共著)：特
許証 667034 号.
オプトエレクトロニクスの現状と将来：電子通信学会，57，2，134～145，1974，2.

教授 渡辺 勝 (WATANABE Masaru)

ミニコンにおける LISP (鈴木則久と共著)：生産研究，26，1，21～24，1974. 1.

教授 尾上 守夫 (ONOE Morio)

高結合圧電セラミック材料の測定法—圧電セラミック材料 (田中哲郎・岡崎清・一の瀬
昇編)：第 7 章 学献社 1973.
三個の振動子を用いた温度補償水晶発振器 (平間宏一と共著)：電子通信学会論文誌 56
A，1973. 3，155～162.
固体にはさまれた流体中の超音波伝播 (小林洋一と共著)：日本音響学会誌 29，7，
397～402，1973. 7.
低周波メカニカル遅延線路 (富川義朗・砂山益輝と共著)：日本音響学会誌 30，2，82～
90，1974. 2.
エレクトロメカニカル振動子の最近の進歩：応用物理 42，921～923，1973. 9.
板波探傷特集号について：非破壊検査，板波探傷特集号 22，4，204～205，1973. 4.
板波探傷の展望：非破壊検査，板波探傷特集号 22，4，214～220. 1973. 4.
板波探傷用可変周波数型探傷器 (山田博章・西海秀夫と共著)：非破壊検査，板波探傷
特集号 22，4，228～230，1973. 4.
多チャンネル AE 標定システム (山口楠雄・市川初男・嶋田淑男・野口跡見と共著)：
生産研究 25，4，25～28，1973. 4.
An experiment of two dimensional monolithic filters (coauthor: L. Spassov)：生
産研究 25，549～551，1973. 12.
表面波デバイスの将来：エレクトロニク，セラミックス 4，57～60，1973. 7.
水晶発振器の新しい温度補償方式 (平間宏一と共著)：エレクトロニクス 47，82～103，
1973. 1.
アーツ衛星とデジタル画像処理：画像技術 11，1，1～12，1973. 11，
Acoustic Emission とその構造物，安全性監視への応用について：圧力技術 11，2，65
～69，1973.
Low Frequency Resonators of Lithium Tantalate (coauthors: T. Shinada, K. Ito,

- S. Miyazaki): Proc. Freq. Control Symp. 42~49, 1973.
- Computer Processing of Ultrasonic Images: US-Japan Seminar on Pattern Information Processing in Ultrasonic Imaging, 1973. 1.
- Computer Analysis of Traffic Flow Observed by Subtractive Television US-Japan Seminar on Picture & Scene Analysis, 1973, 7.
- Chromosom Analysis by Minicomputer (Coauthors: M. Takagi, K. Yukimatsu): US-Japan Seminar on Picture & Scene Analysis, 1973. 7.
- Acoustic Emission Research in Japan for Flaw Detection in Weld, 日米セミナー—溶接構造物の欠陥評価 US-Japan Seminar on Significance of Defects in Welded Structures, 1973. 9.
- 非破壊検査の新しい動向, New Trends in Non-destructive Testing: 日米合同シンポジウム 1973. 10.
- 検査の自動化——とくに金属の非破壊検査について: 計装制御技術会議 1973. 10.
- 零温度係数タンタル酸リチウム屈曲振動子 (品田敏雄・伊東国太・宮崎茂行と共著): 電子通信学会, 超音波研究会資料 US 73~16. 1973. 8.
- 側面が傾いた板の厚みねじれ振動 (山岸一郎と共著): 電子通信学会 超音波研究会資料 US 73~22, 1973. 10.
- ITV を用いた画像入力装置 (高木幹雄・小野文孝と共著): 電子通信学会画像工学研究会資料 IT 73-12, 1973. 6.
- アコースティック・エミッションとその応用技術(1)総論: 電気四学会連合大会 286, 1973. 10.
- 差信号 ITV による交通流計測: (浜野亘男・大場一彦と共著): 昭和48年度電気学会全国大会 514, 1972. 4.
- LiTaO₃ 単結晶屈曲振動子の零温度係数点 (品田敏雄・伊東国太・宮崎茂行と共著): 昭和48年電子通信学会全国大会 70, 1973. 3.
- AT-BT 板の組合せによる温度補償水晶発振器 (幕田俊勝と共著): 昭和48年電子通信学会全国大会 70, 1973. 3.
- 音響プログラムの計算処理による画質の向上 (石川俊行と共著): 昭和48年電子通信学会全国大会 86, 1973. 3.
- 高安定水晶発振器におけるトランジスタ雑音の短期安定度への影響: (大場一彦・藤森義光と共著): 昭和48年電子通信学会全国大会 504, 1973. 3.
- 1ライン/フレーム方式によるTV画像デジタル化装置 (高木幹雄・小野文孝と共著) 昭和48年電子通信学会全国大会 1117, 1973. 3.
- 側面が傾いた板の厚みねじれ振動 (山岸一郎と共著): 日本音響学会論文集 2~4~20, 1973. 5.
- 計算機による音響プログラムの画質向上 (石川俊行と共著): 日本音響学会講演論文集 2~5~20. 1973. 5.

- 合成開口側視ソナー信号の計算機再生(石川俊行と共著)：日本音響学会講演論文集 2～5～22, 1973. 5.
- 高結合電振動子の簡易等価回路(荒木文男と共著)：日本音響学会講演論文集 2～1～9, 1973. 10.
- 側面が傾いた板の厚みねじれ振動の変位分布(山岸一郎と共著)：日本音響学会講演論文集 2～1～10, 1973. 10.
- AE 試験情報処理システム(第2報)(山口楠雄・市川初男・嶋田淑男・野口跡見と共著)：非破壊検査・22, 2, 104～105, 1973. 2.
- 導波器付 AE 探触子の特性(山田博章と共著)：非破壊検査 22. 2. 108～109, 1973. 2.
- 平底孔付標準探触子(山田博章と共著)：非破壊検査 22, 2, 94～95, 1973. 2.
- 超音波探傷器校正用遅延素子(山田博章と共著)：非破壊検査 22, 574～575, 1973. 9.
- ミニコンを使った染色体の解析システム(高木幹雄・行松健一と共著)：日本 ME 学会大会予稿集 C-30, 1973, 5.
- 超音波医学情報の3次元処理, 日本超音波医学会, 第24回講演論文集 231～232, 1973. 5.
- アコースティック, エミッション標定システム(山口楠雄・市川初男・嶋田淑男・南崎義輝と共著)：第12回計測自動制御学会学術講演会 1511, 1973. 8.
- 耳をすまして：東京大学新聞(大学の窓) 1973. 12. 24.

教授 安達 芳夫 (ADACHI Yoshio)

- 薄い MOS ダイオードの逆方向トンネル電流の温度依存性(勝部昭明・生駒俊明と共著)：昭和48年度電子通信学会全国大会, 336. 1973. 4.
- 熱刺戟容量及び電流による半導体中の深い不純物準位の測定(堺和夫・生駒俊明と共著)：電子通信学会半導体トランジスタ研究会, SSD-73～34, 1973. 8.
- 熱刺戟電流による MNOS メモリデバイスのトラップ準位の測定(勝部昭明・生駒俊明と共著)：電子通信学会半導体トランジスタ研究会, SSD-73～39, 1973. 9.
- MNOS メモリデバイスの熱刺戟電流によるトラップ準位の測定(勝部昭明・生駒俊明と共著)：第34回応用物理学会学術講演会予稿集, 17p-D-1, 1973. 10.
- MNOS メモリデバイスの C-t 法によるトラップの測定(徳田博邦・勝部昭明・生駒俊明と共著)：第34回応用物理学会学術講演会予稿集, 17p-D-2, 1973. 10.
- MIS トンネルダイオードの微小信号等価回路(勝部昭明・生駒俊明と共著)：第34回応用物理学会学術講演会予稿集, 17p-D-3, 1973. 10.
- 熱刺戟容量及び電流による深い不純物準位の測定(堺和夫・生駒俊明と共著)：第34回応用物理学会学術講演会予稿集, 17a-H-5, 1973. 10.
- Trap Centers in MNOS Memory Devices Measured by Thermally Stimulated Current (coauthors: T. Katsube, T. Ikoma): Japan. J. Appl. Phys.. 12, 10,

1633~1634, 1973. 10.

Thermally Stimulated Capacitance and Thermally Stimulated Current in a p-n Junction with Generation-Recombination Centers (coauthors: K. Sakai, T. Ikoma): Japan. J. Appl. Phys., 12, 11, 1816~1817, 1973. 11.

熱刺激電流による MNOS メモリデバイスのトラップ単位の測定 (勝部昭明・生駒俊明と共著): 生産研究, 25, 12, 535~538, 1973. 12.

Small Signal Equivalent Circuit for an MIS Tunnel Diode (coauthors: T. Katsube, T. Ikoma): Japan. J. Appl. Phys., 13, 3, 504~515, 1974. 3.

教授 浜崎 襄二 (HAMASAKI Joji)

光受動素子 (藤井陽一と共著): 電子通信学会誌, 56, 4, 524~529, 1973. 4.

金属クラッド誘電体板光線路の伝送モードの近似解 (高野忠と共著): 電子通信学会論文誌, 56-C 7, 385~392, 1973. 7.

レンズ様媒体を通過した像のホログラフィによる補正 (前田惟裕と共著): 光量子エレクトロニクス研究会資料, OQE 73~30, 1973. 8.

ロケット追尾レーダーと計算機処理 (石谷久と共著): 昭和 48 年電気四学会連合大会, 1973. 10.

レンズ列によるホログラム情報の削減法 (永田洋一と共著): 電子通信学会論文誌, 56-C 8, 488~495, 1973. 8.

二重反射ホログラフィ・ホログラムの情報削減 (永田洋一と共著): 電子通信学会論文誌, 56-C No. 8, 637~644, 1973. 12.

教授 河村 達雄 (KAWAMURA Tatsuo)

雷: 電気工学年報, 3・4, 電気学会, 1973. 2.

オプトエレクトロニクスによる汚損がいしの分担電圧の測定 (原田達哉, 青島好英, 相原良典, 岸敬二, 白坂好広と共著): 昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集 1067, 1973. 4.

汚損がいしのフラッシュオーバー確率と漏れ電流との関連 (石井勝と共著), 昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集 1096, 1973. 4.

汚損がいしのフラッシュオーバー確率 (横井良秀・伊坂勝生・長田正義と共著): 徳島大学工学部研究報告 18, 133~140, 1973. 4.

高電圧測定における最近の進歩 (原田達哉と共著): 電気学会雑誌 93, 5, 378~385, 1973. 5.

電離電圧波に関する最近の研究 (池田久利と共著): 放電研究 53, 21~24, 1973. 6.

レーザー光照射による絶縁破壊機構 (北条準一・森田和実・丸山義雄と共著): 大気電気研究 8, 67~70, 1973. 7.

雷放電機構, 雷災防止, 大気電気シンポジウム: 大気電気研究 8 A, 46~47, 61~62,

- 67~68, 1973. 7.
- 発光ダイオード変流器のはなし (原田達哉・岸敬二と共著): 電気計算 41, 7, 80~84, 1973. 7.
- Lightning Performance of EHV Double Circuit Transmission Lines in Japan: CIGRE Study Committee No. 33, Overvoltages and Insulation Co-ordination, Working Group 01: Lightning 16 and Task Force 01.01: Lightning Flash Counter 11, 1973. 9.
- Researches on High Voltage Measurement and High Voltage Apparatus using Optoelectronics in Japan (coauthors: T. Harada, K. Kishi): CIGRE Study Committee No. 33, Overvoltages and Insulation Co-ordination, Working Group 03: High Voltage Testing Technique 28, 1973. 9.
- がいの汚損面の吸湿密度—漏れ電流およびフラッシュオーバー電圧の湿度依存性— (伊坂勝生と共著): 電気学会論文誌 93-B, 9, 426~433, 1973. 9.
- 統計的耐雷設計: 昭和 48 年電気四学会連合大会講演論文集 7, 1973. 10.
- 放電確率を考慮した絶縁設計法 (石井勝と共著): 昭和 48 年電気四学会連合大会講演論文集 41, 1973. 10.
- 温度差を有するがいの汚損面の吸湿現象 (伊坂勝生・横井良秀・長田正義・内藤克彦・入江孝と共著): 昭和 48 年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集 39, 1973. 10.
- がいの耐汚損性能の評価について (横井良秀・伊坂勝生・長田正義・北条準一・森田和実と共著): 昭和 48 年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集 41, 1973. 10.
- 自然汚損懸垂がいの漏れ抵抗とフラッシュオーバーとの関連 (石井勝と共著): 昭和 48 年電気関係学会関西支部連合大会講演論文集 G 4-19, 1973. 10.
- フラッシュオーバーまでの時間の確率分布を考慮した多連ギャップの放電率 (石井勝と共著): 電気学会放電研究会資料 ED-73-29, 1973. 12.
- 汚損条件下における電力供給システムの絶縁信頼度 (石井勝・森田和実・伊坂勝生と共著): 生産研究 26, 2, 63~67, 1974. 2.
- レーザー光照射による金属蒸気噴出のしきい値の検討 (池田久利と共著): 昭和 49 年電気学会全国大会講演論文集 82, 1974. 3.
- モデルによる雷撃時鉄塔電位上昇の検討 (石井勝・原田達哉・岸敬二と共著): 昭和 49 年電気学会全国大会講演論文集 914, 1974. 3.
- 等価霧中試験時における汚損がいの連の分担電圧特性 (原田達哉・青島好英・相原良典・岸敬二・白坂好広と共著): 昭和 49 年電気学会全国大会講演論文集 978, 1974. 3.
- オプトエレクトロニクスによる汚損がいの連の直流分担電圧の測定—塩霧法・定印霧中法— (原田達哉・青島好英・相原良典・岸敬二・白坂好広と共著): 昭和 49 年電気学会全国大会講演論文集 979, 1974. 3.
- 衝撃電圧による長ギャップ放電の遅れ時間分布と並列ギャップの放電率 (石井勝と共

著)：昭和 49 年電気学会全国大会講演論文集 982, 1974. 3.

教授 山口 楠雄 (YAMAGUCHI Kusuo)

多チャンネル・アコースティック・エミッション標定システム (尾上守夫・市川初男・嶋田淑男・野口跡見と共著)：昭和 48 年電気学会全国大会論文集, 1381, 1973. 4.

多チャンネル AE 標定システム (尾上守夫・市川初男・嶋田淑男・野口跡見と共著)：生産研究, 25, 4, 167~170, 1973. 4.

液体着色率の連続測定装置 (南崎義輝と共著)：第 12 回 SICE 学術講演会論文集, 1501, 1973. 8.

流量の予測制御シミュレーション (嶋田淑男と共著)：第 12 回 SICE 学術講演会論文集, 2602, 1973. 8.

アコースティック・エミッション標定システム (尾上守夫・市川初男・嶋田淑男・南崎義輝と共著)：第 12 回 SICE 学術講演会論文集, 1511, 1973. 8.

プロジェクト・マネジメントの計装への適用について (芥川伸と共著)：第 12 回 SICE 学術講演会論文集, 3818, 1973. 8.

AE の計測技術：昭和 48 年電気四学会連合大会論文集, 288, 1973. 10.

原子炉模型圧力容器の内圧繰返し疲労試験における AE 標定について (尾上守夫・市川初男・嶋田淑男・下間芳樹と共著)：日本非破壊検査協会昭和 49 年度春季大会論文集, II-17, 1974. 3.

マン・スケジューリングを含む計装プロジェクト管理 (芥川伸と共著)：昭和 49 年電気学会全国大会論文集, 1119, 1974. 3.

多チャンネル・アコースティック・エミッション標定システム (尾上守夫・市川初男・嶋田淑男・下間芳樹と共著)：昭和 49 年電気学会全国大会論文集, 1136, 1974. 3.

原子炉模型圧力容器の内圧繰返し疲労試験における AE 標定について (尾上守夫・嶋田淑男・下間芳樹と共著)：昭和 49 年電気学会全国大会論文集, 1137, 1974. 3.

助教授 安田 靖彦 (YASUDA Yasuhiko)

パルス幅伸縮 Δ - Σ 変調による階調ある画像の FAX 電送 (山田文彦と共著)：画像電子学会 予稿 No. 21 26~27. 1973. 4.

周波数拡散ランダムアクセス通信方式に関する二、三の検討 (田坂修二と共著)：テレビジョン学会テレビジョン伝送研究委員会 テ・伝送資料 35~4. 1973. 5. 17.

情報収集用非同期多重通信の方式 (田坂修二と共著)：電子通信学会通信方式研究会 1973. 11. 20.

中間調のある画像のファクシミリ伝送記録方式 (山田文彦・長谷川晴朗と共著)：第 4 回画像工学コンファレンス No. 5~2, 1973. 11. 21~22.

判定帰環回線同期による MFSK 一次変調周波数拡散ランダムアクセス通信方式 (田坂修二と共著)：電子通信学会論文誌 57-A, 1, 38~45. 1974. 1.

単一符号化方式による中間調ある画像のファックス伝送記録（長谷川晴朗と共著）：テレビジョン学会，画像伝送研究会，1974，3. 28.

助教授 高羽 禎雄 (TAKABA Sadao)

故障検出容易な Cellular Array の構成法（玉本英夫と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集，1249，1973. 4.

容量以上の交通量に対する信号機制御方式—スプリットパラメータについて—（上村務と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集，1385，1973. 4.

交通流シミュレーション・システム TRN*SIM II の概要（浜田喬・谷口忠勝外 2 名と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集，1386，1973. 4

TRN*SIM II における車両走行のモデル化（浜田喬・兼子隆と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集，1387，1973. 4.

TRN*SIM II における車両走行演算の手法（浜田喬・谷口忠勝・藤田一彦外 1 名と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集，1388，1973. 4.

TRN*SIM II における演算制御方式（谷口忠勝外 3 名と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集，1389，1973. 4.

故障検出容易な Cellular Array の構成法（玉本英夫と共著）：電子通信学会電子計算機研究会資料，EC 73~59，1973. 11.

道路交通のハイブリッド・シミュレーション（谷口忠勝・兼子隆と共著）：シミュレーション技術研究会資料，1，2，85~95，1973. 12.

助教授 藤井 陽一 (FUJII Yoichi)

断層ホログラフィを用いた三次元画像の情報削減（松原俊郎と共著）：電気談話会報告，23，8，1973. 3.

光受動素子（浜崎襄二と共著）：電子通信学会誌，56，4，524~528，1973. 4.

三次元画像の情報量削減を目的とした断層ホログラフティ（松原俊郎と共著）：電子通信学会光量子エレクトロニクス研究会資料，1973. 5.

光変調用 KDP 型結晶の寸法を考慮した最適カット（霜村攻・古屋直臣と共著）：電子通信学会光量子エレクトロニクス研究会資料，1973. 5.

CO₂ レーザ光のビーム・ガイド（大林周逸・東野和久・松井秀文と共著）：生産研究，25，8，20~22，1973. 8.

Ge レンズを用いた CO₂ レーザのビームガイドおよびスポット径測定（大林周逸・東野和久・松井秀文と共著）：電子通信学会論文誌，56，9，563~564，1973. 9.

セルフロックを用いたレーザ式電流計測器（斎藤成文・横山幸嗣と共著）：昭和 48 年電気学会全国大会，1414，1973.

光周波数変換器（滝本英之と共著）：昭和 48 年度電子通信学会全国大会，90，1973.

モード同期レーザによる断層ホログラフィ（松原俊郎と共著）：昭和 48 年度電子通信学

会全国大会, 943, 1973.

インコヒーレント光の高感度ヘテロダイン検出 (斎藤成文・西本博信・滝本英之と共著): 昭和48年度電子通信学会全国大会, 960, 1973.

LiIO₃ 単結晶の育成における雑晶の抑制 (稲村攻・古屋直臣と共著): 電子通信学会論文誌, 56-C, 10, 587~588, 1973. 10.

Holographic Optical Sectioning for Information Reduction of Three-Dimensional Image (松原俊郎と共著): 生産研究, 25, 12, 36~37, 1973. 12.

電力用光変成器 (斎藤成文・青柳和治・北原学・大野豊・横山幸嗣と共著): 昭和49年電気学会全国大会, 1974.

LiNbO₃ 結晶を用いた光周波数変換器 (滝本英之と共著): 電子通信学会光量子エレクトロニクス研究会資料, 1974. 3.

助教授 高木 幹雄 (TAKAGI Mikio)

Computer Enhancement of Acoustic Images (coauthors: N. B. Tse, G. R. Heidebreder, C. H. Lee, G. Wade): Acoustical Holography, 5, 541~550, Plenum Press, 19, 1973. 7.

画像の計算機処理 I (科学技術分野) 特集パターン認識, III 画像と物体の認識 第2章: 電気学会雑誌, 93, 11, 973~977, 1973. 11.

高能率ランレングス符号 (津田俊隆と共著): 昭和48年度画像電子学会第1回全国大会予稿集, 1973. 4.

ミニコンを使った染色体の解析システム (尾上守夫, 行松健一と共著): 第12回日本ME学会大会予稿集, C-30, 1973, 5.

信号変換によるファクシミリの帯域圧縮 (津田俊隆と共著): 1973年テレビジョン学会全国大会予稿集 2~6, 1973. 6.

2次元予測反転方式によるファクシミリの帯域圧縮 (津田俊隆と共著) .. 1973年テレビジョン学会全国大会予稿集, 2~7, 1973. 6.

ITV を用いた画像情報処理用入力装置 (小野文孝と共著): 1973年テレビジョン学会全国大会予稿集, 11~2, 1973. 6.

ITV を用いた画像入力装置 (尾上守夫, 小野文孝と共著): 電子通信学会画像工学研究会資料, IE 73-12, 1973, 6.

高能率多モードランレングス符号 (津田俊隆と共著): 電子通信学会通信方式研究会・画像工学研究会資料, CS 73-38, IE 73-18, 1973. 7.

Chromosome Analysis by Minicomputer (coauthors: M. Onoe, Y. Yukimatsu): US-Japan Seminar on Picture and Scene Analysis, Kyoto, 1973. 7.

表面欠陥の非破壊検査: HPI 日本合同シンポジウム非破壊検査の新しい展開予稿集, 14~30, 1973. 9.

転置行列を高速に得る方法について (横井行雄と共著): 電子通信学会電子計算機研究

- 会資料, EC 73-26, 1973. 9.
- 溶接部X線像のデジタル処理 (横井行雄と共著): 非破壊検査, 22, 9, 560~561, 1973. 9.
- 画像情報処理のパターン計測への応用: 73計装・制御技術会議 Session 6 パターン認識と信号処理技術, 1973. 10.
- 信号変換によるファクシミリ帯域圧縮 (津田俊隆と共著): 昭和48年度電気関係学会 関西支部連合大会予稿集, S 8~5 及び電子通信学会画像工学研究会資料 IE 73-25, 1973. 10.
- 画像情報処理: 日本學術振興会応用磁気第137委員会第30回研究会資料, 1973. 11.
- 溶接部X線像における溶接線の抽出とその表示 (横井行雄と共著): 非破壊検査, 23, 2, 1974. 2.
- 分布予測を用いたランレングス符号 (津田俊隆と共著): 昭和49年電気学会全国大会予稿集, 1974. 3.
- ブロック転置方式による行列の転置 (横井行雄と共著): 昭和49年電気学会全国大会予稿集, 1974. 3.
- ITVを用いたオンライン顕微鏡システム (尾上守夫・高橋利定と共著): 昭和49年電気学会全国大会予稿集, 1974. 3.
- ブラッグ映像法による超音波画像の計算機処理 (浜野亘昂, 富田強と共著): 昭和49年電気学会全国大会予稿集, 1974. 3.

助教授 原島 文雄 (HARASHIMA Fumio)

- 電気自動車に関する技術的諸問題—充電システムおよび利用システム: 昭和48年電気学会全国大会 S. 8~4, 1973. 4.
- 逆起電力転流方式無整流子電動機の解析 (江原実, 小山幸男と共著): 昭和48年電気学会全国大会, 725, 1973. 4.
- 自動車用全電気式自動操縦装置の研究 (稲葉博・伊藤俊彦他と共著): 昭和48年電気学会全国大会, 869, 1973. 4.
- SMDを用いたトランジスタ式サーボモータの研究 (鈴木英雄と共著): 昭和48年電気学会全国大会, 726, 1973. 4.
- サイリスタ無整流子電動機の研究: 生産研究 4, 148, 1973.
- 充電システムの研究: 日本電気協会電気自動車充電システム研究調査委員会報告 1973.
- デュアルモード・バス・システムの技術的評価に関する研究調査報告書: 運輸経済研究センター 1973.
- 状態推移法による無整流子電動機の解析 (小山孝男・江原実と共著): 第12回 SICE 学術講演会前刷 1612, 1973. 8.
- 自動車の自動操舵系の最適設計 (坪井邦夫・稲葉博と共著): 第12回 SICE 学術講演会前刷 3716, 1973. 8.

SMD を用いたトランジスタ式サーボモータの研究 (鈴木英雄と共著) : 電気学会自動制御研究会資料 1973. 11.

自動車の自動操舵系の最適設計 (坪井邦夫・稲葉博・宮田豊雄と共著) : 自動車技術会学術講演会前刷集 No. 732, 1973.

無整流子電動機における直流リアクトルの影響 (小山孝男と共著) : 昭和 49 年電気学会全国大会 1974. 3.

助教授 生駒 俊明 (IKOMA Toshiaki)

Dertermination of Hole and Electron Traps from Capacitance Measurements (coauthor: B. Jeppsson): Japan. J. Appl. Phys., 12, 7, 1011~1019, July 1973.

Gunn-effect Digital Devices for Sub-nanosecond Pulse Regenerators and Logic Functions (coauthors: T. Sugeta, M. Tanimoto, H. Yanai): Proc. 4th Cornell Conf. on Microwave Semiconductor Devices, Circuits, and Applications, held at Ithaca, U. S. A. August, 1973.

GaAs 中の深いトラップ準位の測定 (堺和夫共著) : 応用物理, 42, 11, 1123~1130, Nov. 1973.

Small Signal Equivalent Circuit for an MIS Tunnel Diode (coauthors: T. Katsube, Y. Adachi): Japan. J. Appl. Phys., 13, 3, March 1974.

Trap Centers in MNOS Memory Devices Measured by Thermally Stimulated Currents (coauthors: T. Katsube, Y. Adachi): Japan. J. Appl. Phys., 12, 10, 1633~1634, Oct. 1973.

TSCAP and TSC in a p-n Junction with g-r centers (coauthors: K. Sakai, Y. Adachi): Japan J. Appl. Phys., 12, 11, 1816~1817, Nov. 1973.

MIS トンネルダイオードの微小信号等価回路 (勝部昭明・安達芳夫共著) : 第 34 回応用物理学会学術講演会, 17 p-D-3, Oct. 1973.

MNOS メモリ・デバイスの熱刺激電流によるトラップ準位の測定 (勝部昭明・安達芳夫共著) : 第 34 回応用物理学会学術講演会, 17 p-D-1, Oct. 1973.

MNOS メモリ・デバイスの C-t 法によるトラップの測定 (徳田博邦他共著) : 第 34 回応用物理学会学術講演会, 17 p-D-2, Oct. 1973.

熱刺激容量及び電流による深い不純物準位の測定 (堺和夫・安達芳夫共著) : 第 34 回応用物理学会学術講演会, 17 a-H-5, Oct. 1973.

バリットダイオードのマイクロ波特性 (原和裕共著) : 信学会電子装置研究会, ED 73 ~38, July 1973.

Computer Analysis of BAR ITT Diode (coauthor: K. Hara): Specialist Seminar on Active Microwave Semiconductor Devices, held at Calvi, France, Nov. 1973.

熱刺激容量及び電流による半導体中の深い不純物準位の測定 (堺和夫・安達芳夫共著) : 信学会半導体・トランジスタ研究会資料 SSD 73~34 (1973~08), Aug. 1973.

熱刺激電流による MNOS メモリ・デバイスのトラップ単位の測定 (勝部昭明, 安達芳夫共著): 信学会半導体・トランジスタ研究会資料, SSD 73~39 (1973~09), Sept. 1973.

キャパシタンス法によるトラップの測定: 電学会トランジスタ専門委員会, Feb. 1974. MNOS メモリー・デバイスのトラップ単位と書き込み, 保持特性 (勝部昭明・安達芳夫共著): 電気学会トランジスタ専門委員会, March, 1974.

半導体中の深いエネルギー単位の不純物の測定 (堺和夫共著): 生産研究 25, 7, 278~287, July 1973.

熱刺激電流による MNOS メモリ・デバイスのトラップ単位の測定 (勝部昭明・安達芳夫共著): 生産研究 25, 12, 15~18, Dec. 1973.

助教授 浜田 喬 (HAMADA Takashi)

交通流の経路指定のための最適配分アルゴリズム (藤田一彦と共著): 生産研究, 25, 4, 17~19, 1973. 4, 交通流シミュレーションシステム TRN*SIM II の概要 (高羽禎雄・谷口忠勝・倉内憲孝・今井元と共著): 昭和 48 年電気学会全国大会, 1386, 1973. 4.

TRN*SIM II における車両走行のモデル化 (高羽禎雄・兼子隆と共著): 昭和 48 年電気学会全国大会, 1388, 1973. 4.

TRN*SIM II における車両走行演算の手法 (高羽禎雄・谷口忠勝・藤田一彦・今井元と共著): 昭和 48 年電気学会全国大会, 1388, 1973. 4.

道路網における交通流最適配分の一方式 (藤田一彦と共著): 昭和 48 年電気学会全国大会, 1384, 1973. 4.

助教授 榊 裕之 (SAKAKI Hiroyuki)

Negative Differential Resistance and Thermal Effect in Silicon MOS Field-Effect Transistors (coauthor: T. Sugano): Abstracts of Fifth International Conference on Solidstate Devices, Tokyo, 1973, 8.

Quantum State and Electron Transport at Si-SiO₂ Interface and MIS Device Technology (coauthors: T. Sugano, K. Hoh, T. Iizuka, K. Hirai, K. Kuroiwa, K. Kakemoto): J. Fac. Engineering, Univ. of Tokyo (B), 32, 157-371, 1973.

極低温における MOS トランジスタの負性抵抗と温度効果 (菅野卓雄と共著) 東大工学部総合試験所年報 32, 141~146, 1973, 9.

シリコン MOS 素子における界面単位と表面量子化: 応用物理学会, 応用電子物性分科会研究報告 355, 1~12, 1973. 9.

表面におけるキャリアの散乱現象と移動度: 応用物理学会薄膜・表面分科会, 第 2 回土曜講座テキスト, 85~140, 1974. 2.

助 手 市川 初男 (ICHIKAWA Hatsu))

多チャンネル・アコースティック・エミッション標定システム (尾上守夫・山口楠雄・嶋田淑男・野口跡見と共著) : 昭和 48 年電気学会全国大会, 1381, 1973. 4.

多チャンネル AE 標定システム (尾上守夫・山口楠雄・嶋田淑男・野口跡見と共著) : 生産研究, 25, 4, 167~170, 1973. 4.

アコースティック・エミッション標定システム (山口楠雄・尾上守夫・嶋田淑男・南崎義輝と共著) : 第 12 回 SICE 学術講演会, 1511, 1973. 8.

多チャンネル・アコースティック・エミッション標定システム (第 2 報) (尾上守夫・山口楠雄・嶋田淑男・下間芳樹と共著) : 昭和 49 年度電気学会全国大会, 1136, 1974. 3.

助 手 山田 博章 (YAMADA Hiroaki)

導波器付 AE 探触子の特性 (尾上守夫と共著) : 非破壊検査, 22, 2, 108~109, 1973. 2.

平底孔付標準探触子 (尾上守夫と共著) : 非破壊検査, 22, 2, 94~95, 1973. 2.

超音波探傷器較正用遅延素子 (尾上守夫と共著) : 非破壊検査, 22, 9, 574~575. 1973. 9.

助 手 谷口 忠勝 (TANIGUCHI Tadakatsu)

交通流シミュレーション・システム TRN*SIM II の概要 (高羽禎雄・浜田喬他 2 名と共著), 昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集, 1386, 1973. 4.

TRN*SIM II における車両走行演算の手法 (高羽禎雄・浜田喬・藤田一彦他 1 名と共著) : 昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集, 1388, 1973. 4.

TRN*SIM II における演算制御方式 (高羽禎雄他 3 名と共著), 昭和 48 年電気学会全国大会講演論文集, 1389. 1973. 4.

道路交通のハイブリッド・シミュレーション (高羽禎雄・兼子隆と共著), シミュレーション技術研究会資料, 1, 2, 85~95, 1973. 12.

交通流シミュレータ TRN*SIM II のためのドラムプログラムアセンブラ, 昭和 49 年電気学会全国大会論演論文集, 1107, 1974. 3.

第 4 部

教 授 加藤 正夫 (KATO Masao)

Effects of Dissolved Oxidizing Agents and Inhibitors on Pitting Corrosion of

- Aluminium in Water (coauthors: I. Inoue et al.): Aluminium 49, 4, 1~5, Apr., 1973.
- Nondestructive Testing in Metallurgy Using Nuclear Techniques; IAEA Panel Discussions on Radiation Engineering in the Academic Curriculum, Aug.~Sept. 1973.
- 核分裂生成物等総合対策懇談会報告, 利用開発グループ報告, 日本原子力産業会議, 1973. 4.
- アルミニウムを考える—3, アルミニウムの特性は新しい用途を生むアルミニウム No. 1963. 6.

教授 野崎 弘 (NOZAKI Hiroshi)

- 物質情報論とその応用: 総合科学出版社 (文部省刊行物補助出版), 1974. 3.
- Some Properties of TiO₂ as an Imaging Material (coauthor: T. Iida): Imaging Materials and Systems (SPSE Tokyo Symposium), A 16~1, 1973. 11. Identification of Normal Paraffins and Olefins from Thermal Decomposition Products of Polyethylene (coauthors: K. Honda, T. A. Iida): Bulletin of the Chemical Soc. Japan, 46, 5, pp. 1480~1482, 1973.
- 物質移動の基本式: 生産研究 25, 9, 387~395, 1973. 9.
- 化学反応速度の起動力をそのエントロピー生成量から求むることについて: 生産研究 25, 11, 504~507, 1973. 11.

教授 山辺 武郎 (YAMABE Takeo)

- 電気透析: 用水廃水便覧, p. 357~366, 丸善, 1973, 10.
- 電気透析法: 化学便覧応用編, p. 1532~1533, 丸善, 1973. 11.
- Ion—Exchange Separations on Mixed Columns: J. Chromatogr., 83, 59, 1973. 8.
- Elution Behaviour of the Rare Earth Elements on Single and Mixed Ion-Exchange Column (coauthor: T. Hayashi): J. Chromatogr., 87, 1, 227, 1973. 12.
- ナイロン6を用いる逆浸透膜の研究 (速報) (吉田章一郎・高井信治と共著): 日本海水学会誌, 26, 5, 279, 1973. 4.
- Studies on the Piezodialysis (coauthors: N. Takai, S. Yoshida, K. Umezawa): Proceedings of the 4th International Symposium of Fresh Water from the Sea, 4, 475, 1973. 9.
- 高速液体クロマトグラフィー (総説): 有機合成化学, 31, 2, 115, 1973, 2.
- 高速液体クロマトグラフィーの担体 (総説) (高井信治と共著): 和光純薬時報, 42, 1, 1973, 3.
- イオン交換膜などを利用する膜分離法 (総説): 分析化学, 22, 4, 465, 1973. 5.
- 高速液体クロマトグラフィー (応用) (総説): 化学教育, 21, 3, 181, 1973. 6.

高速液体クロマトグラフィーについて (総説) (高井信治と共著) : *Fragrance Journal*, 1973, 1, 8, 1973, 7.

溶解性塩類の除去技術と実例 (総説) : *Mol*, 1973, 8. (臨時増刊), 139, 1973, 8.

高速液体 GPC について (総説) (中村互志高井信治と共著) : *Fragrance Journal*, 1973, 2, 53, 1973, 9.

電気透析による造水プラント (総説) : *環境創造*, 3, 10, 25, 1973, 10.

逆浸透法の理論 (総説) : *日本海水学会誌*, 27, 4, 235, 1973, 11.

教授 中村 亦夫 (NAKAMURA Matao)

Viscoelastic Properties of Aqueous Solution of Methylcellulose (coauthor: T. Amari) : *J. Appl. Polym. Sci.* 17, 589, 1973.

アルギン酸ナトリウム水溶液の流動特性 (甘利武司と共著) : *日化誌* 5, 1021, 1975.

炭水化物系希薄水溶液の動的粘弾性 (甘利武司と共著) : *材料* 22, 430, 1973.

アルギン酸ナトリウム希薄水溶液の動的粘弾性 (甘利武司と共著) : *日化誌* 11, 2207, 1973.

Rheological Properties of Aqueous Solution of Methylcellulose (coauthor: T. Amari) : *Reports on Progress in Polymer Physics in Japan* 16, 157, 1973.

Flow Properties of Aqueous Solution of Methylcellulose (coauthor: T. Amari) : *J. Appl. Polym. Sci.* 17, 3439, 1973.

教授 武義 藤一 (MUTO Giichi)

Flow Coulometric Detector for Liquid chromatography (coauthor: Y. Takata) : *Analytical Chemistry*, 45, 11, 1864~1868, 1973, 9.

高速液体クロマトグラフィーによる防腐・殺菌剤の分析 (中栄篤男と共著) : *Fragrance Journal*, 1, 3, 55~57, 1973, 11.

イオン選択電極 : *MOL*, 11, 7, 59~64, 1973, 7.

公害機器分析の展望 : *日本化学会関東支部・高分子学会北陸支部合同新潟地方大会講演要旨集*, 1973, 7.

都市廃棄物対策の開発研究概要 (妹尾学と共著) : *生産研究*, 26, 2, 68~70, 1974, 2.

教授 今岡 稔 (IMAOKA Minoru)

The Internal Friction of Glass Containing Alkali under an Electric Field (coauthor: H. Sakamura) : *Bull. Chem. Soc. Japan* 46, [6] 1676, 1973.

教授 館 充 (TATE Mitsuru)

Fluidizing and Flooding Phenomena in the Blast Furnace : *Transactions of the Iron and Steel Institute of Japan*, 13, 247, 1973. (coauthors: C. Nakane, Y.

- Hawano, K. Suzuki, K. Ohtani, K. Honda, M. Matsuzaki, T. S. Chang):
ストックレベルにおける装入物の分布機構について (大谷啓一, 桑野芳一と共著): 鉄と鋼, 59, 281, 1973.
酸素バーナーによる天然ガスの燃焼 (鈴木吉哉, 大谷敬一, 松崎幹康と共著): 鉄と鋼, 59, 282, 1973.
均一分布を仮定した高炉モデル (全明と共著): 鉄と鋼, 59, 331, 1973.
不均一分布を考慮した高炉モデル (全明と共著): 鉄と鋼, 59, 330, 1973.
試験高炉内における還元鉱石の状態変化と吸炭について (李海洙と共著): 鉄と鋼, 59, 344, 1973.
試験高炉内における溶銑への Si 移行について (李海洙と共著): 鉄と鋼, 59, 345, 1973.
溶銑粒に巻込まれたスラグ粒の表面積の評価 (李海洙と共著): 鉄と鋼, 59, 346, 1973.
コークス揮発分中の水素について (張東植と共著): 鉄と鋼, 59, 347, 1973.

教授 河添邦太郎 (KAWAZOE Kunitaro)

- 活性炭上の二酸化硫黄酸化反応における硫酸蓄積量と硫酸生成速度 (山本・関と共著);
日本化学会誌 (化学と工業化学), 1973. No. 6, 1268~1279, 1973. 7.
Intracrystalline Diffusivity of Carbon Dioxide in Synthetic Sodium A Zeolite
(coauthor: T. Takebayashi): Proceeding 3rd Intern. Conference on MS Zeolite
(in Zurich) 1973. 9.
多孔体の移動現象の物性・係数: 触媒, 15, No. 3, 59~67, 1973. 9.
用水廃水便覧 (改訂二版), 288~302. 丸善, 1973. 10.

教授 西川 精一 (NISHIKAWA Seiichi)

- Step-annealing 法による Cu-0.3% Cr 合金の析出および復元挙動の研究 (長田と共著): 日本金属学会誌, 37, 10, 1973, 1094~1100.
Cu-0.52 wt% Fe 合金の時効初期における比抵抗増加および Cu-Fe 合金時効材の塑性変形による電気抵抗の異常増加について (長田と共著): 生産研究, 25, 7, 1973, 288~292.
金属-金属固溶体における格子内高速拡散について (楠と共著): 生産研究, 25, 9, 380~386, 1973. 9.
Al-Zr 合金の等時焼鈍に伴う電気抵抗変化 (小林と共著): 日本軽金属学会秋期講演会概要, 1973, 15~16.
アルミニウム中の Zn の粒界拡散 (梅津と共著): 生産研究, 25, 4, 162~164, 1973. 4.
Cu-Ti 合金の時効および復元現象について (長田と共著): 日本金属学会秋期講演会概要, 351, 1973.

多価金属中の貴金属の固溶度：Pb-Ag 系の場合，（円谷・大野と共著）：日本金属学会
秋期講演会概要，233，1973.

教授 熊野 裕 従 (KUMANOTANI Ju)

リモネンのヒドロホルミル化反応（共著者：湖上・高橋・梁井）油化学，22，316~320，
1973.

Selective Hydrogenation of Methyl Cinnamaldehydes Catalyzed by Cobalt Carbonyl
in the Presence of Limited Amount of Amines (coauthor: K. Kogami): Bull.
Chem. Soc. Japan, 11, 3562~3565, 1973.

The Allylic Rearrangement of Linalyl Acetate in the Medium of Acetic Acid,
Propionic Acid or Acetic Acid-Containing Dioxane or Sulfuric Acid (coauthor:
K. Kogami): Bull. Chem. Soc., 47, 1, 226~233, 1974.

A Synthesis of Hydroxycitronellal: Hydration and Subsequent Hydrolysis of
Imines, Enamines or Oxazolidines Prepared from Citronellal and Amines (coau-
thor: R. Ishino): J. Organic Chemistry, 39, 108~111, 1974.

A New Synthesis of [4-Methyl-hydroxyamyl]- Δ^3 -cyclohexene Carboxaldehyde
(coauthor: K. Kogami): Canadian J. of Chemistry, 52, 125~128, 1974.

Viscoelastic Properties of Epoxy Resins II. Antiplasticization in Highly Crosslinked
Epoxy Systems (coauthor: N. Hata): J. Appl. Polymer Sci., 17, 2173~2181,
1973.

Irregular Change in Specific Gravity for a Series of Epoxy Prepolymers (Coau-
thor: N. Hata): J. Appl. Polymer Sci., 17, 3545~3547, 1973.

Metal Toxicology and Coatings in Japan: Symposium on Metal Toxicology in
Coatings, North Dakota State Univ. Symposium, June 4, 1974.

米国におけるエネルギー回収システムとしての固形廃棄物の処理：生産研究，26，82~
87，1974. 2.

高分子科学の展望 (III) 培風館，三次元ポリマー，1973. 5.

教授 早野 茂 失 (HAYANO Shigeo)

微分パルスポーラログラフィーによる微量重金属の分析（篠塚則子と共著），生産研究，
26，2，78—81，1974.

界面活性剤，化学便覧応用編，p. 1076~1088，丸善（日本化学会編）1973. 11.

教授(併) 浅原 照三 (ASAHARA Teruzō)

わが国における複合材料研究の動向——各種結合材特に有機高分子系結合素材を中心と
して，学術月報，25，No. 12，767，1973. Mar.

各種脂肪酸ナトリウムの存在下におけるスチレンの重合（有田喜一・白石振作・妹尾学

- と共著)：日化誌, 1042, 1973. 5.
- 種々の開始剤を用いた α , β -不飽和化合物と四塩化炭素の反応(佐藤瑠・妹尾学と共著)：油化学, 22, 298, 1973. 6.
- The Polymerization of Vinyl Monomers in the Presence of Surface-active Agents. V. The Copolymerization of Methyl Methacrylate with Styrene (coauthors: Y. Arita, S. Shiraishi, M. Senō): Bull. Chem. Soc. Japan, 46, 2599, 1973. 8.
- 化学生態学の展望——合成洗剤の生分解性, 化学総説, 137, 1973. No. 2. 10.
- Telomerization of Etylene with Carbon Tetrachloride Initiated by *N*-Chloroalkylamines (coauthors: M. Senō, N. Ohtani): Bull. Chem. Soc. Japan, 46, 3193, 1973. 10.
- 界面活性剤存在下のビニルモノマーの無触媒重合における無機塩数の添加効果(有喜田一・白石振作・妹尾学と共著)：高分子化学, 31, 52, 1974. 1.
- α , α , α , γ -テトラクロロアルカンより β -クロロカルボン酸の合成(佐藤瑠・妹尾学と共著)：油化学, 23, 117, 1974. 2.
- イソブチレンと四塩化炭素のテロメリゼーションとその1：付加体より β , β -ジメチルアクリル酸の合成(佐藤瑠・妹尾学と共著)：有機合成化学協会誌, 32, 184, 1974. 3.

助教授 原 善四郎 (HARA Zenshiro)

- 粉末圧延における不規則現象について(明智清明と共著)：粉体粉末冶金協会昭和48年春期大会講演概要集, 16~18, 1953. 5.
- 複雑形状部品の抵抗焼結(坂井徹郎と共著)：粉体粉末冶金協会昭和48年春期大会講演集, 22~24, 1973. 5.
- Fe-W-SiC 合金の抵抗焼結(坂井徹郎と共著)：粉体粉末冶金協会昭和48年秋期大会講演集, 38~40, 1973. 10.
- 非鉄製錬における重金属汚染：技術と人間(季刊) 6, 36~42, 1973. 7.
- 東邦亜鉛排煙による安中地区の重金属汚染：群馬評論：別冊1, 16~18, 1973, 12.

助教授 明石 和夫 (AKASHI Kazuo)

- 直流プラズマジェットの高圧下における酸化アルミニウムの炭素還元について—プラズマジェットの製錬への応用(第6報)—(石塚隆一と共著)：昭和48年日本鋳業会研究・業績発表講演会講演要旨集, 135~136, 1973. 3.
- 溶融塩の精製について(黄仁基・降旗節夫と共著)：生産研究, 25, 5, 187~196, 1973. 5.
- プラズマジェットの高圧下における酸化アルミニウムの炭素還元(4)—酸化アルミニウムの炭素還元(石塚隆一と共著)：生産研究, 25, 5, 250~202, 1973, 5.
- Reduction of Metal Oxides in a Direct Current Plasma Arcl (coauthors: R. Ishi-

zuka, T. Mutobe): Preprint of 4th International Conference on Vacuum Metallurgy, 78~79, 1973. 6.

アークプラズマによる金属酸化物の還元 (石塚隆一と共著): 金属, 43, 10, 50~56, 1973. 10.

金属の溶射, 溶解, 還元プロセスなどへのプラズマの応用 (石塚隆一と共著): 日本金属学会会報, 13, 1, 27~35, 1974. 1.

助教授 本多 健一 (HONDA Kenichi)

Studies of Photodegradable Polystyrene (coauthors: K. Nakamura, T. Yamada): Chemistry Letters, No. 1, 35~38, 1973.

The Sign and the Lifetime of Charge Carriers in Auramine under Photoconduction (coauthors: H. Shimoda, M. Sukigara): Mol. Cryst. and Liq. Cryst., 20, 165, 1973.

Identification of Normal Paraffins and Olefins from Thermal Decomposition Products of Polyethylene (coauthors: T. Iida, H. Nozaki): Bull. Chem. Soc. Japan, 46, 5, 1480, 1973.

有限要素法による電解反応の解析(第3報)—ダブルポテンシャルステップ法への応用— (川井忠彦・藤谷義信・木原哲昭・渡辺正と共著): 生産研究, 25, 3, 113, 1973.

Electrochemiluminescence of 9, 10-diphenylanthracenehalogen ion systems (coauthors: T. Kihara, M. Sukigara): Electrochimica Acta, 18, 9, 639, 1973.

Electrochemiluminescence of pyrene in acetonitrile (coauthors: T. Kihara, M. Sukigara): J. Electroanal. Chem. and Interfacial Chem., 47, 1, 161, 1973.

9, 10-ジフェニルアンセラセンの電気化学発光効率 (木原哲昭・山下憲二・鋤柄光則と共著): 電気化学, 41, No. 12, 889, 1973.

Photosensitivity of the Gelatin Films Containing Hexavalent chromium Oxysalts (coauthor: M. Sasaki): Graphic Arts Japan, 15, 14, 1973~1974.

Progress of Photography "Photographic Sensitivity and Sensitization: Bull. Soc. Phot. Sci. Tech. Japan, No. 22, 64, 1972.

化学便覧 (応用編, 第14章, 写真・印刷): 日本化学会編, 丸善, 1141, 1973.

電極反応の基礎 (藤嶋昭と共著): 共立化学ライブラリー, 5, 共立出版, 58~108, 1973.

液晶の基礎物性 (鋤柄光則と共著): 日本印刷学会論文集, 14, No. 3, 87, 1973.

一重項酸素とその関与する光化学反応 (阿部隆夫・鋤柄光則と共著): 生産研究, 26, 2, 71, 1974.

Spectral Sensitization of Photoreduction of Ammonium Dichromate Aqueous Solution (coauthor: M. Sasaki): SPSE Tokyo Symposium Preprint, A-6-1, 1973.

助教授 妹尾 学 (SENŌ Manabu)

各種脂肪酸ナトリウムの存在下におけるスチレンの重合 (有田喜一・白石振作・浅原照

- 三と共著)：日化誌，1042，1973. 5.
- 種々の開始剤を用いた α ， β -不飽和化合物と四塩化炭素の反応 (佐藤瑠・浅原照三と共著)：油化学，22，298，1973. 6.
- The Polymerization of Vinyl Monomers in the Presence of Surface-active Agents. V. The Copolymerization of Methyl Methacrylate with Styrene (coauthors: Y. Arita, S. Shiraiishi, T. Asahara): Bull. Chem. Soc. Japan, 46, 2599, 1973. 8.
- Telomerization of Etylene with Carbon Tetrachloride Initiated by *N*-Chloroalkylamines (coauthors: T. Asahara, N. Ohtani): Bull. Chem. Soc. Japan, 46, 3193, 1973. 10.
- 界面活性剤存在下のビニルモノマーの無触媒重合における無機塩類の添加効果 (有田喜一・白石振作・浅原照三と共著)：高分子化学，31，52，1974. 1.
- α ， α ， α ， γ -テトラクロロアルカンより β -クロロカルボン酸の合成 (佐藤瑠・浅原照三と共著)：油化学，23，117，1974. 2.
- イソブチレンと四塩化炭素のテロメリゼーションとその1：1付加体より β ， β -ジメチルアクリル酸の合成 (佐藤瑠・浅原照三と共著)：有機合成化学協会誌，32，184，1974. 3.
- 不可逆過程の熱力学 I，II，III，現代化学，No. 27，22，No. 28，40，No. 29，18 (1973. 6，7，8)

助教授 石田 洋一 (ISHIDA Yoichi)

- Burgers Vectors of Grain Boundary dislocations in ordered Grain Boundaries of Cubic Metals (coauthor: M. Mclean): Phil. Mag. 27, 1125, 1973.
- Disclination: Kinzoku 43, 64, 1973.
- 多結晶の変形と粒界転位：日本金属学会報，12，807，1973.
- 粒界原子配列にみられる種々の規則性と乱れ構造：日本金属学会春期講演概要集，67，1973.
- Al-4.4% Mg 合金粒界析出の粒界構造依存性 (劉勝利・加藤正夫と共著)：同上概要集，66，1973.
- 高温クリープ変形した Al-1% Mg 合金における結晶粒内転位の性格 (森藤文雄・加藤正夫と共著)：同上概要集，23，1973.
- Al-Mg 合金析出における転位の役割 (劉勝利・加藤正夫と共著)：日本電子顕微鏡学会第29回学術講演会概要集，116，1973.
- 応力下における格子転位の反応：日本金属学会秋期講演概要集，242，1973.
- 亜鉛アルミニウム共析合金の高温引張りにおけるヒゲ結晶の生長 (鈴木邦夫・市原正樹と共著)：同上，244，1973.
- Al-Mg 合金における高温クリープ転位組織の解析 (森藤文雄・加藤正夫・内田祐二と共著)：同上，218，1973.

Fe₂Ge 非化学量論相原子空孔のメスバウアー解析 (成瀬明輔・加藤正夫と共著): 同上, 256, 1973.

Al 中にイオン注入した ⁵⁷Fe のメスバウアースペクトル (佐々紘一・加藤正夫・金子 衆太郎と共著): 同上, 257, 1973.

金属結晶粒界の準規則構造, 物理学会秋期分科会予稿集 A. 115, 1973.

アルミニウム中の ¹¹⁹Sn および ⁵⁹Fe のメスバウアースペクトルに対する焼入れの影響 (梅山伸二・佐々紘一・加藤正夫と共著): 同上, A. 140, 1973.

助教授 高橋 浩 (TAKAHASHI Hiroshi)

ゼオライトによるアンモニア性窒素の除去 (三箇清治・吉岡等と共著): 下水道協会誌, 10, 105, 2~11, 1973. 1.

カーボンブラック粒子表面の活性水素と水との相互作用 (萩原茂示・堤和男と共著): 日本化学会誌, 8, 1369~1373, 1973. 8.

シリカとジアゾメタンの反応 (堤和男と共著): 日本化学会誌, 8, 1374~1378, 1973. 8.

Effects on Dealumination on the Catalytic Properties of Faujasite-type Zeolites (coauthors: K. Tsutsumi, H. Kajiwara, H. Koh): Third International Conference on Molecular Sieve Zeolite, Recent Progress Reports, 1973. 9.

赤泥による重金属イオンの除去 (三箇清治・倉田陽・川南彰と共著): 水処理技術, 14, 8, 37~41, 1973. 9.

ゼオライトによる下水の3次処理 (三箇清治・倉田陽と共著): 水処理技術, 14, 11, 1151~1159, 1973. 11.

ゼオライトによる汚水中のアンモニア性窒素および重金属イオンの除去 (三箇清治・倉田陽と共著): 下水道協会誌, 11, 116, 2~8, 1974. 1.

Characteristic Studies on Dealumination of Faujasite-type Zeolite (coauthors: K. Tsutsumi, H. Kajiwara): Bull. Chem. Soc. Japan (in press).

助教授 白石 振作 (SHIRAISHI Shinsaku)

The Polymerization of Vinyl Monomers in the Presence of Surface Active Agents.

V. The Copolymerization of Methyl Methacrylate with Styrene (coauthors: Y. Arita, M. Senō, T. Asahara): Bull. Chem. Soc. Japan, 46, 8, 2599, 1973.

各種脂肪酸ナトリウム存在下におけるスチレンの重合 (有田喜一・妹尾学・浅原照三と共著): 日化, 1973, 5, 1042.

界面活性剤存在下のビニルモノマーの無触媒重合における無機塩類の添加効果 (有田喜一・妹尾学・浅原照三と共著): 高分子論文集, 31(1), 52, 1974.

水素炎イオン化検出器を備えたガスクロマトグラフによる脂肪酸組成の定量 (渡辺昭一郎・中里敏・桑山英夫・笹本幸弘・清野肇・永井敏雄・根岸正明・早野茂夫と共著):

油化学, 22(2), 95, 1973.

オリゴ (エチレンピペラジン) の合成 (藤井幸喜と共著): 日化, 1974 (2), 342.

助教授 鈴木 基之 (SUZUKI Motoyuki)

Notes on Determining the Moments of the Impulse Responce from the Basic Transformed Equations: J. Chem. Eng. Japan, 6, No. 6, 1973.

ポリオレフィンの乾留熱分解による液化(河添と共著): 化学工学協会第 38 年会, A112, I, 52~55, 1973.

活性炭における ABS の吸着速度(河添・川井と共著): 化学工学協会第38年会, E204, II, 277~279, 1973.

クロマト法による接触反応の解析: 吸着と反応シンポジウム(化工協会) 41~44, 1973. 9.

ゲル炉過における Zone Spreading: 化学工学協会第 7 回秋季大会, C308, 237~8, 1973.

分子ふるいカーボンの粒子内拡散係数 (河添・茅原と共著): 化学工学協会第 7 回秋季大会, C202, 197~8, 1973.

助教授 井野 博満 (INO Hiromitsu)

メスバウアー効果を用いた Fe-Ni-Al 合金におけるスピノーダル分解の研究 (斉藤誠・住友芳夫と共著): 日本金属学会誌, 37, 540~546, 1973.

The Mössbauer Effect of Fe-V and Fe-Cr Sigma Phase (coauthors: Y. Sumitomo, T. Moriya, F. E. Fujita): J. Phys. Soc. Japan, 35, 461~468, 1973.

Mössbauer Effect in Iron-Nitrogen Alloys and Compounds (coauthors: T. Moriya, Y. Sumitomo, F. E. Fujita, Y. Maeda): J. Phys. Soc. Japan, 35, 1378~1385, 1973.

助教授 鋤柄 光則 (SUKIGARA Mitsunori)

The Sign and Lifetime of Charge Carriers in Auramine under Photoconduction, (coauthors: H. Shimoda, K. Honda): Mol. Cryst. Liquid Cryst. 20, 165~175, 1973.

Electrochemiluminescence of Pyrene in Acetonitrile, (coauthors: T. Kihara, K. Honda): Electroanal. Chem. Interfacial Chem. 47, 161~166, 1973.

Electrochemiluminescence of 9, 10-Diphenylanthracene-Halogen Ion Systems, (coauthors: T. Kihara, K. Honda): Electrochimica Acta 18, 639~643, 1973.

9, 10-ジフェニルアントラセンの電気化学発光効率 (木原哲昭・山下憲二・本多健一と共著): 電化, 41, 889~893, 1973.

液晶の基礎的物性 (本多健一と共著): 日本印刷学会論文集, 14, 87~93, 1973.

Progress of Photography in Japan, "Unconventional Photography": Bull. Soc. Phot.

Sci. Tech. Japan, 22, 73~74, 1972.

化学便覧(応用編)第14章写真・印刷(本多健一他と共著):日本化学会編,丸善,1973.

一重項酸素とその関与する光化学反応(阿部隆夫・本多健一と共著):生産研究,26,71~77,1974.

講師 大蔵 明光 (ŌKURA Akimitsu)

鉄ウイスキーの強度特性に対する中性子照射の影響:鉄と鋼,59,1973.4.

中性子照射を受けた鉄ウイスキーの引張破断後の顕微鏡観察:材料科学,10,1973.6.

鉄ウイスキーの製造と複合材料への応用:金属表面技術,24,1973.10.

鉄ウイスキーの中性子照射による塑性挙動特性:鉄と鋼,59,1973.11.

非等温還元における実験式について:鉄と鋼,59,1973.11.

粉鉱石の還元に関する研究:鉄と鋼,60,1973.2.

助手 長田 和雄 (NAGATA Kazuo)

Step-annealing 法による Cu-0.3 Cr 合金の析出および復元挙動の研究(西川と共著):日本金属学会誌,37,10,1094~1100,1973.

Cu-Ti 合金の時効および復元現象について(西川と共著):日本金属学会秋期講演会概要,351,1973.

Cu-0.52 wt% Fe 合金の時効初期における比抵抗増加および Cu-Fe 合金時効材の塑性変形による電気抵抗の異常増加について(西川と共著):生産研究,25,7,288~292,1973.

助手 佐藤 乙丸 (SATO Otomaru)

トレーサー実験における放射能検出に関する研究,シンチレーションプローブによるパイプ計数(高橋らと共著):第10回理工学における同位元素研究発表会要旨集,60,1973.4.

アイソトープ電池:Radioisotopes 22,8,78~85,1973.8.

Present Status of Industrial Application of Radioisotopes and Radiation (coauthors: M. Kobayashi, S. Enomoto): Technical Summary Report for the 11th Japan Conference on Radioisotopes, 157~173, 1973. Nov.

核分裂生成物等総合対策懇談会報告,利用開発グループ(加藤らと共著):日本原子力産業会議,1973,4.

助手 井上 健 (INOUE Takeshi)

アルミニウムの孔食発生と成長におよぼす腐食抑制剤と塩素水の濃度の影響について(加藤らと共著):軽金属,23,4,157~163,1973.

アルミニウム合金の塩化カルシウム・塩化ナトリウム溶液に対する耐食性および腐食抑制剤の効果 (加藤と共著) : 軽金属協会, 1973.

助手(特別研究員) 小川昭二郎 (OGAWA Shojiro)

Azaphenanthrenophanes and Their Metal Complexes (coauthor: N. Gotoh): Abstracts: Fourth International Congress of Heterocyclic Chemistry, p.133, 1973. 7.

助手 高井 信治 (TAKAI Nobuharu)

ナイロン6を用いる逆浸透膜の研究(速報)(山辺武郎・吉田章一郎と共著): 日本海水学会誌, 26, 5, 279, 1973. 4.

Studies on the Piezodialysis (coauthors: T. Yamabe, S. Yoshida, K. Umezawa): Proceedings of the 4th International Symposium of Fresh Water from the Sea, 4, 475, 1973. 9.

高速液体クロマトグラフィーの担体(総説)(山辺武郎と共著): 和光純薬時報, 42, 1, 4, 1973, 3.

高速液体クロマトグラフィーについて(総説)(山辺武郎と共著): Fragrance Journal 1973, 1, 8, 1973. 7.

高速液体 GPC について(総説)(山辺武郎・中村亘志と共著): Fragrance Journal 1973, 2, 53, 1973. 9.

助手 明智 清明 (AKECHI Kiyooki)

粉末圧延における不規則現象について(原善四郎と共著): 粉体粉末冶金協会昭和48年度春季大会講演概要集, 16~18, 1973.

造船における技術をめぐる諸問題: 鑄鍛造, 26, 6, 3~13, 1973.

助手 安井 至 (YASUI Itaru)

Interfacial Phenomena and the Orientation of Spinel in MgO-Al₂O₃ Solial State Reaction (山口悟郎・黒沢博幸と共著): 窯業協会誌, 81, 5, 197~202, 1973. 5.

MgO-Al₂O₃ 系固相反応におけるスピネル反応層のエッチングによる研究(山口悟郎・田中誠と共著): 窯業協会誌, 81, 10, 413~419, 1973. 10.

技官 佐々木政子 (SASAKI Masako)

Photosensitivity of the Gelatip Films Containing Hexavalent Chromium Oxysalts, (Coauthor: K. Honda): Graphic Arts Japan, 15, 14~18, 1973~1974.

Spectral Sensitization of Photoreduction of Ammonium Dichromate Aqueous Solution, (Coauthor: K. Honda): 1973 SPSE Tokyo Symposium, Preprint, A-6-1, 1973.

技 官 梅津 清 (UMEZU Kiyoshi)

アルミニウム中の Zn の粒界拡散 (西川と共著): 生産研究, 25, 4, 162~164, 1973.

技 官 李 章鎬 (LI Jan-ho)

3, 3'-ジイソビオラントロニルの合成 (故後藤信行と共著): 有機合成化学協会誌, 31, 591, 1973.

3, 8'-, 3, 6'-, 4, 6'-ジベンゾアントロニルの合成とそのB型縮合 (岡田建司・故後藤信行と共著): 日本化学会第28春季年会講演予稿集(Ⅲ)1147, 1973. 4.

イソジベンゾアントロニルのハロゲン化 (故後藤信行と共著): 日本化学会第28春季年会講演予稿集(Ⅲ)1148, 1973. 4.

4, 4'-ジイソビオラントロニルの合成 (故後藤信行と共著): 日本化学会第29秋季年会講演予稿集(I)561, 1973. 10.

技 官 梅沢香代子 (UMEZAWA Kayoko)

Studies on the Piezodialysis (coauthors: T. Yamabe, N. Takai, S. Yoshida): Proceedings of the 4th International Symposium of Fresh Water from the Sea, 4, 475, 1973. 9.

技 官 吉田章一郎 (YOSHIDA Shoichirō)

ナイロン6を用いる逆浸透膜の研究 (速報) (山辺武郎と共著): 日本海水学会誌, 26, 5, 279, 1973, 4.

Studies on the Piezodialysis (coauthors: T. Yamabe, N. Takai, K. Umezawa): Proceedings of the 4th International Symposium of Fresh Water from the Sea, 4, 475, 1973. 9.

技 官 坂村 博康 (SAKAMURA Hiroyasu)

The Internal Friction of Glass Containing Alkali under an Electric Field (coauthor: M. Imaoka): Bull. Chem. Soc. Japan 46, [6], 1676, 1973.

第 5 部

教 授 勝田 高司 (SHODA Takashi)

パッケージ型空調機の発生音パワ測定について (寺尾道仁と共著): 第7回空調和・冷凍連合講演会講演論文集, 1973. 4.

- 住宅の給湯使用実態と容量算定法に関する研究—集合住宅の環境装備に関する研究（その1）（村上周三・吉野博と共著）：空気調和・衛生工学会論文報告集，1973. 4.
- 暖房時の湿度および結露の実態と防露設計法に関する研究—集合住宅の環境装備に関する研究（その2）（村上周三・江口和雄と共著）：空気調和・衛生工学会論文報告集，1973. 5.
- 気流音の無次元スペクトラムについて—空気調和の発生騒音—（寺尾道仁と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 建物周辺に発生する強風並びにその変動に関する風洞模型実験—特に変動の周期について—（村上周三・上原清・池田耕一と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 防風林（垣）の性能に関する模型実験（村上周三・杉山伸一・上原清と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 市街地におけるガスの拡散に関する風洞模型実験（Case Study），（村上周三・池田耕一・上原清と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 建物中庭の空気汚染に関する実測—T. C. 型住棟の場合—（村上周三・小林信行・池田耕一と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 建物中庭の気流の実測—T. C. 型住棟の場合—（村上周三・小林信行と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 建物中庭の換気量の実測—T. C. 型住棟の場合—（村上周三・丸谷勇治・小林信行・戸河里敏と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 温風暖房時の室内気流変動なうびに温度分布に関する実験的研究（村上周三・戸河里敏・小林信行と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 各戸型貫通ダクト給排気方式に関する研究—その1，実物大模型実験—（村上周三・吉野博・鈴木一弘と共著）：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
- 室内気流の可視化—その1，流れのパターンとアルキメデス数の関係—（村上周三・小林信行・戸河里敏と共著）：日本建築学会関東支部48年度学術研究発表会研究報告集1974. 3.
- 室内気流の可視化—その2，温風吹出しの粒子の拡散過程—（村上周三・戸河里敏・小林信行と共著）：日本建築学会関東支部48年度学術研究発表会研究報告集，1974. 3.
- 室内気流の乱れの性状—室間長さとの渦動拡散係数の関係—（村上周三・小林信行・戸河里敏と共著）：日本建築学会関東支部48年度学術研究発表会研究報告集，1974. 3.
- 各戸貫通ダクト給排気方式に関する研究—その2，集合住宅における現場実験—（村上周三・吉野博・杉山伸一と共著）：日本建築学会関東支部48年度学術研究発表会研究報告集，1974. 3.

教授 久保慶三郎 (KUBO Keizaburo)

Behavior of Underground Waterpipes during an Earthquake: Proc. of 5 WCEE,

1973. 6.

- A Proposal for Joint International Research Technocrat 7, 1, 1974. 1.
35,000 kl 液化ガスタンクの地震観測：第28回土木学会年次大会講演集，1973. 10.
歩道橋の振動性状と耐震性：第28回土木学会年次大会講演集，1973. 10.
地震工学と破壊力学・地中構造物：第23回応用力学連合講演会論文抄録集，1973. 10.
都市構造物の耐震強度の調査研究概要：生産研究，26，1974. 2.

教授 池辺 陽 (IKEBE Kiyoshi)

- デザイン的手法 (J. Ch. Jones 著の訳)：丸善株式会社，1973. 6.
テクノロジー・アセスメント (高層建築のテクノロジー・アセスメント)：日本建築学会刊，建築雑誌，1973. 5.
建築と材料との対話：プラスチックスエージ社刊，plastics age，1973. 10.
新しい建築技術の開発手法：工業時事通信社，1973. 10. 25.
ソフト系ハード系分類による建築設計計画のフローチャート—テクノロジーアセスメントにおける技術把握の方法—日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.

教授 井口 昌平 (INOKUCHI Syōhei)

- 仏和理工学辞典，第3版，白水社，1973. 6.

教授 田中 尚 (TANAKA Hisashi)

- 安全の確率の話：JSSC，1973. 4.
柱・はり接合部必要パネル厚の計算式：日本建築学会論文報告集，1973. 5.
Failure of Steel Beams due to Lateral Buckling under Repeated Loads (coauthors: K. Takanashi, K. Udagawa)：IABSE Symposium, Lisbon, 1973. 9.
Experiments on Lateral Buckling of H-shaped Beams Subjected to Monotonic Loading (coauthors: K. Udagawa, M. Saishiyō, K. Takanashi)：日本建築学会論文報告集，1973. 10.
鋼部材の繰返し軸方向力に対する弾塑性挙動 (重信恒雄と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
H形鋼梁の回転能力について (最相元雄・高梨晃一と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
繰返し載荷をうけるH形鋼の横座屈崩壊 (高梨晃一・宇田川邦明と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.
繰返し軸力を受ける鋼部材の復元力特性に関する研究 (重信恒雄と共著)：生産研究，26, 2, 49~53, 1974. 2.

教授 石井 聖光 (ISHII Kiyoteru)

- N₂ 置換法による横浜市・金沢区公会堂の模型実験 (橘秀樹と共著)：音響技術，3，57
63，1973. 4.
- 騒音対策模型実験のための模型用遮音材料の検討 (橘秀樹・折笠輝雄と共著)：日本音響学会講演論文集，421～422，1973. 5.
- 信号交差点における騒音性状 (山口道征と共著)：日本音響学会講演論文集，191～192，
1973. 5.
- 信号交差点付近における騒音性状およびその伝搬 (山口道征・岩瀬昭雄と共著)：日本音響学会講演論文集，193～194，1973. 5.
- 各種モデルによる交通騒音の考察 (岩瀬昭雄と共著)：日本音響学会講演論文集，185～
186，1973. 5.
- 交通騒音と建物による反射 (山口道征・岩瀬昭雄と共著)：日本音響学会講演論文集，
201～202，1973. 5.
- 遮音に関する模型実験 (橘秀樹・折笠輝雄と共著)：日本音響学会，建築音響研究委員会資料，1973. 9.
- N₂ 置換法による横浜市金沢区公会堂の模型実験 (橘秀樹と共著)：日本音響学会誌，
29，9，535～540，1973. 9.
- 二乗積分法によるホールの音響測定一千葉市民会館の音響特性一 (橘秀樹・綿谷重規と
共著)：日本建築学会，大会学術講演梗概集，15～16，1973. 10.
- 騒音対策標型実験のための模型用遮音材料の検討 (橘秀樹・折笠輝雄と共著)：日本建
築学会，大会学術講演梗概集，33～34，1973. 10.
- 市街地ビルの窓の遮音に関する模型実験 (橘秀樹・山口道征・折笠輝雄と共著)：日本
建築学会，大会学術講演梗概集，35～36，1973. 10.
- 交通騒音の予測に関する考察 (岩瀬昭雄と共著)：日本建築学会，大会学術講演梗概集，
47～48，1973. 10.
- 模型実験による高架道路からの騒音伝搬の検討 (橘秀樹・山口道征と共著)：日本音響
学会講演論文集，543～544，1973. 10.
- 交通騒音レベル予測方法の一例 (岩瀬昭雄と共著)：日本音響学会講演論文集，521～
522，1973. 10.
- 信号交差点における騒音レベルの変動 (山口道征・有田陽一と共著)：日本音響学会講
演論文集，533～534，1973. 10.

教授 三木五三郎 (MIKI Gosaburo)

- 最近の土質試験法：土と基礎，土質工学会，21，4，7～11，1973. 4.
- SI 単位と土質工学—その1，その2—：土と基礎，土質工学会，21，4，5，83～86，95
～99，1973. 4，5.

土質工學用語とその表記法の変遷に関する一考察（鳥光道枝と共著）：第8回土質工學研究発表會講演集，土質工學會，1~4，1973. 6.

薬液注入の非固結例とその原因の考察（今村芳徳・佐藤剛司・所外1名と共著）：同上，773~776，1973. 6.

最近の国内文献から考えた注入工法の現況と問題点（上），（下）（所外1名と共著）：施工技術，6，7，8，65~74，52~59，1973. 7，8.

土木とJIS——総論：土木学会誌，58，9，65~71，1973. 8.

土木とJIS——単位の規格：土木学会誌，58，10，81~85，1973. 9.

鉛直上昇流による砂の浸透研壞（斎藤孝夫と共著）：土木学会第28回年次學術講演會講演集第3部，9~10，1973. 10.

地盤注入の新しい薬液と施工法に関する二，三の中規模比較試験（佐藤剛司・所外1名と共著）：同上，264~265，1973. 10.

土質安定および地盤改良に関する諸問題：土と基礎，土質工學會，21，10，9~10，1973. 10.

マサ土地山の注入工法による止水の可能について（斎藤孝夫と共著）：第18回土質工學シンポジウム，土質工學會，97~100，1973. 10.

ピサの斜塔とモスクワ會議：基礎工，1，6，124~128，1973. 11.

標準貫入試験の問題点：土と基礎，土質工學會，21，12，77~82，1973. 12.

モスクワ會議——土質安定処理の方法：土と基礎，土質工學會，22，1，45~46，1974. 1.

続・ヨーロッパの土質基礎事情（所外10名と共著）：コンストラクション，12，2，1~24，1974. 2.

設計までの土質調査法と土質試験法——総論：施工技術，7，3，57~64，1974. 3.

教授 村松貞次郎（MURAMATSU Teijiro）

大工道具の歴史：岩波新書 No. 867，岩波書店，1973. 8.

明治の洋風建築：近代の美術 No. 20，至文堂，1974. 1.

道具と機械と人間の歴史的関係：機械学会誌，76，654，723~728，1973. 6.

助教授 小林 一輔（KOBAYASHI Kazusuke）

プラスチックコンクリートの防食材・接着材としての利用：コンクリートジャーナル，11，4，34~39，1973. 4.

耐海水コンクリート：コンクリートジャーナル，11，7，18~24，1973. 7.

レジンコンクリートの圧縮疲労性状（大浜嘉彦・伊藤利治と共著）：土木学会第28回年次學術講演梗概集第5部，1973. 10.

コンクリートの弾性係数に対する構成材料の複合効果（趙力采と共著）：土木学会第28回年次學術講演梗概集第5部，1973. 10.

- エポキシ樹脂による新旧コンクリートの打継ぎ接着について (野口豊・森弥広と共著) : 土木学会第 28 回年次学術講演梗概集第 5 部, 1973. 10.
- 海洋開発における窯業材料の役割と要求される性質, セラミックス, 9, 2, 1974. 2.
- ポリマー含浸コンクリート: 生産研究, 25, 4, 1973. 4.
- Fatigue Properties of Resin Concrete under Repeated Compression Loads (coauthors: Y. Ohama, T. Ito): 生産研究, 26, 3, 1974. 3.

助教授 川股 重也 (KAWAMATA Shigeya)

- 耐震ダンパーに関する研究 (米田護・半谷裕彦・金沢京子と共著) : 東大生研 臨時事業委員会研究報告, 1~9, 1973. 4.
- 座屈点におよぼす初期不整の影響 (半谷裕彦と共著) : 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会, マトリクス構造解析法研究発表論文集, 1973. 6.
- Static-Perturbation 法による球形シェルの非線形解析 (遠藤彰と共著) : 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会, マトリクス構造解析法研究発表論文集, 1973. 6.
- 混合法によるリンク機構およびケーブルネットの非線形解析 (真柄栄毅と共著) : 日本鋼構造協会第 7 回大会研究集会, マトリクス構造解析法研究発表論文集, 1973. 6.
- 弧長増分と Newton-Raphson 収斂過程を用いる計算法 (細野透と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.
- 有限要素法による PCPV のクリープ解析 (塩屋繁松・秋山宏と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.
- 混合法によるケーブルネットの解析, その 1 : 基礎式の誘導, その 2 : 数値解析 (真柄栄毅・国田二郎と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.
- アーチの幾何学的非線形解析, その 1 : 飛移および分岐座屈後の釣合曲線, その 2 : 初期不整の影響を考慮した非線形釣合式 (半谷裕彦・遠藤彰と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.
- 制振機構に関する研究, その 1 : 原理および自由振動試験, その 2 : 起振実験, その 3 : 受動質量をもつ系の固有振動 (米田護・半谷裕彦・金沢京子と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.
- 耐震ダンパーに関する研究, 第 2 報: 起振実験および振動台実験 (米田護・半谷裕彦・金沢京子と共著) : 生産研究, 25, 11, 1973. 11.
- Analysis of Cable Nets in Mixed Formulation (coauthors: E. Magara, J. Kunita) : Theory and Practice in Finite Element Structural Analysis, edited by Y. Yamada and R. H. Gallagher, University of Tokyo Press, 1973. 11.

助教授 越 正毅 (KOSHI Masaki)

- 交通信号のスプリット制御手法の比較検討 (金子豊・松本健二郎と共著) 土木学会第 28 回年次学術講演会講演概要集第 4 部, 193~194, 1973. 10.

交通信号のオフセット制御手法の比較検討 (富沢修次・松本健二郎と共著) : 土木学会
第 28 回年次学術講演会講演概要集第 4 部, 195~196, 1973. 10.

交通信号制御手法の高度化による便益について (茨木康男と共著) : 第 11 回日本道路会
議論文集, 679~680, 1973. 11.

都市交通公害対策の調査研究概要 : 生産研究, 26, 2, 14~16, 1974. 2.

助教授 高梨 晃一 (TAKANASHI Koichi)

Inelastic Lateral Buckling of Steel Beams Subjected to Repeated and Reversed
Loadings: Preprint of 5 WCEE, Rome, 1973. 6.

Failwre of Steel Beams due to Lateral Buckling under Repeated Loads (coauthors :
K. Udagawa, H. Tanaka): IABSE Symposium, Lisbon, 1973. 9.

繰返し載荷をうける H 形鋼の横座屈崩壊 (宇田川邦明・田中尚と共著) : 日本建築学会
大会学術講演梗概集, 1973. 10.

H 形鋼梁の回転能力について (最相元雄・田中尚と共著) : 日本建築学会大会学術講演
梗概集, 1973. 10.

Experiments on Lateral Buckling of H-Shaped Beams Subjected to Monotonic
Loadings (coauthors: K. Uadgawa, M. Saisho, H. Tanaka): 日本建築学会論文報
告集, 第 212 号, 1973. 10.

助教授 原 広司 (HARA Hiroshi)

活動等高線についての基礎的研究—閉曲線図形の立体的把握— : 日本建築学会大会講演
梗概集, 1973. 10.

助教授 村井 俊治 (MURAI Shunji)

シミュレーションモデルを用いたアースデザインに関する研究 (第 5 報) (丸安隆和・
大林成行・栗原京子と共著) : 生産研究, 25, 4, 1973. 4.

Elastic Surface Method による宅地造成設計の最適化 : 土木学会論文報告集, No. 215,
1973. 6.

日照, 日射の効果に関する基礎的研究 : 土木学会論文報告集, No. 215, 1973. 7.

メッシュ法による土工量計算の精度に関する研究 : 写真測量, 12, 1, 1973. 7.

Environmental changes in Tokyo Megalopolice (coauthor: Y. Kato) アメリカ写真
測量学シンポジウム, 1973. 10.

シミュレーションモデルを用いたアースデザインに関する研究 (第 6 報) 生産研究,
25, 8, 1973. 8.

斜面の受ける太陽エネルギーに関する基礎的研究 (大林成行と共著) : 生産研究, 25,
8, 1973. 8.

環境のリモートセンシング : 資源 No. 186, 1974. 1.

地球探査衛星写真を用いた首都圏の環境調査に関する研究 (加藤洋一・吉田保博と共著) : 生産研究, 26, 3, 1974. 3.

助教授 片山 恒雄 (KATAYAMA Tsuneo)

Probabilistic Assessment of Maximum Response Acceleration, 第5回世界地震工学会議プレプリント, 1973. 6.

Some Engineering Characteristics of Earthquake Ground Motions, 日米科学協力セミナー「鉄筋コンクリート構造の安全性に重点をおいた地震工学に関するセミナー」, 1973. 9.

Some Empirical Facts on Damping of Bridges (coauthors: M. Ito, T. Nakazono) : IABSE Symposium on Resistance and Ultimate Deformability of Structures acted on by Well Defined Repeated Loads, 1973. 9.

歩道橋の振動性状と耐震性 (久保慶三郎・佐藤暢彦と共著), 土木学会第28回年次学術講演会講演概要集第1部, 1973. 10.

Statistical Analysis of Peak Accelerations of Recorded Earthquake Ground Motions, 生産研究, 26, 1, 1974. 1.

講師 村上 周三 (MURAKAMI Shuzo)

住宅の給湯使用実態と容量算定法に関する研究—集合住宅の環境装備に関する研究その1— (勝田高司・吉野博と共著) : 空気調和, 衛生工学, 47, 4, 1973. 4.

暖房時の湿度および結露の実態と防露設計法に関する研究—集合住宅の環境装備に関する研究その2— (勝田高司・江口和雄と共著) : 空気調和, 衛生工学, 47, 5, 1973. 5.

温風暖房時の室内気流変動ならびに温度分布に関する実験的研究 (勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.

各戸型貫通ダクト給排気方式に関する研究 (勝田高司・吉野博・鈴木一弘と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.

建物周辺に発生する強風, 並びにその変動に関する風洞模型実験—特に変動の周期について— (勝田高司・池田耕一・上原清と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.

防風林 (垣) の性能に関する風洞模型実験 (勝田高司・杉山伸一・上原清と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.

市街地におけるガスの拡散に関する風洞模型実験—case study— (勝田高司・池田耕一・上原清と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.

建物中庭の気流の実測—T. C. 型住標の場合— (勝田高司・小林信行と共著) : 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1973. 10.

建物中庭の空気汚染に関する研究—T. C. 型住標の場合— (勝田高司・小林信行・池田耕

一と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.

建物中庭の換気量の実測—T. C. 型住標の場合—(勝田高司・小林信行・戸河里敏・丸谷勇治と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.

室内気流の可視化—その1：流れのパターンとアルキメデス数の関係—(勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著)：日本建築学会関東支部学術研究発表会，1974. 3.

室内気流の可視化—その2：温風吹出しの粒子の拡散過程—(勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著)：日本建築学会関東支部学術研究発表会，1974. 3.

室内気流の乱れの性状—空間長さと渦動拡散係数の関係—(勝田高司・小林信行・戸河里敏と共著)：日本建築学会関東支部学術研究発表会，1974. 3.

各戸型貫通ダクト給排気方式に関する研究—その2：集合住宅における現場実験—(勝田高司・吉野博と共著)：日本建築学会関東支部学術研究発表会，1974. 3.

助手 本多 昭一 (HONDA Shoichi)

プレハブリケーション史の研究(その1)—規格構成材としての設備ユニット開発の技術史的意味について—：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.

助手 伊藤 利治 (ITO Toshiji)

レジンコンクリートの圧縮疲労性状(小林一輔・大浜嘉彦と共著)：土木学会第28回年次学術講演会概要集第5部，1973. 10.

助手 佐藤 暢彦 (SATO Nobuhiko)

歩道橋の振動性状と耐震性(久保慶三郎・片山恒雄と共著)，土木学会第28回年次学術講演会講演概要集第1部，1973. 10.

35,000 kl 液化ガスタンクの地震観測(久保慶三郎と共著)，土木学会第28回年次学術講演会講演概要集第1部，1973. 10.

助手 宇田川邦明 (UDAGAWA Kuniaki)

Failure of Steel Beams due to Lateral Buckling under Repeated Loads (coauthors: K. Takanashi, H. Tanaka): IABSE Symposium, Lisbon, 1973, 9.

繰返し載荷をうけるH形鋼の横座屈崩壊(高梨晃一・田中尚と共著)：日本建築学会大会学術講演梗概集，1973. 10.

Experiments on Lateral Buckling of H-Shaped Beams Subjected to Monotonic Loadings (coauthors: M. Saisho, K. Takanashi, H. Tanaka): 日本建築学会論文報告集，第212号，1973. 10.

助手 重信 恒雄 (SHIGENOBU Tsuneo)

鋼部材の繰返し軸方向力に対する弾塑性挙動(田中尚と共著)：日本建築学会大会学術

講演梗概集, 1973. 10.

繰返し軸力を受ける鋼部材の復元力特性に関する研究 (田中尚と共著): 生産研究, 26, 2, 49~53, 1974. 2.

E. 受賞

部名	官職	氏名	受賞名 (賞を出した機関・団体名)	受賞対象の研究	年月日
第5部	助教授	村井 俊治	写真測量学会賞 (写真測量学会)	Topographic Information Processing and its Application to Civil Engineering	48. 4. 26
第3部	教授	河村 達雄	電気学会電気学術振興賞	オプトエレクトロニクス高電圧技術の確立とその実用化	48. 5. 19
第5部	助教授	村井 俊治	土木学会論文奨励賞 (土木学会)	土木計画, 設計における地形情報処理システムに関する研究	48. 5. 29
第4部	〃	本多 健一	日本写真学会技術賞	写真材料の電気化学的研究	48. 5. 29
第5部	教授	村松貞次郎	毎日出版文化賞 (毎日新聞社)	大工道具の歴史	48. 11. 3
第1部	助教授	小倉 馨夫	関東地方発明表彰知事賞 (発明協会, 千葉県知事)	カラーブラウン管露光用補正レンズ	48. 11. 27